建　築　意　匠　図

番号	図面名称	縮尺(A1)	縮尺(A3)
B-01	図面リスト	—	—
B-02	改修工事特記仕様書（１）	—	—
B-03	改修工事特記仕様書（２）	—	—
B-04	改修工事特記仕様書（３）	—	—
B-05	改修工事特記仕様書（４）	—	—
B-06	改修工事特記仕様書（５）	—	—
B-07	改修工事特記仕様書（６）	—	—
B-08	工事区分表	—	—
B-09	配置図・敷地案内図	1:100	1:200
B-10	工事概要・仕上表	—	—
B-11	改修平面図・キープラン・サインプラン	1:30	1:60
B-12	改修立面図	1:50	1:100
B-13	改修断面詳細図	1:30	1:60
B-14	改修展開図	1:50	1:100
B-15	改修天井伏図・屋根伏図	1:50	1:100
B-16	改修建具表	1:50	1:100
B-18	改修部分詳細図（２）	図示	図示
B-19	改修サイン詳細図	図示	図示
K-01	解体平面図・キープラン・サインプラン	1:30	1:60
K-02	解体立面図	1:50	1:100
K-03	解体断面詳細図	1:30	1:60
K-04	解体展開図	1:50	1:100
K-06	解体建具表	1:50	1:100

番号	図面名称	縮尺(A1)	縮尺(A3)

電　気　設　備　図

番号	図面名称	縮尺(A1)	縮尺(A3)
E-01	特記仕様書	—	—
E-02	工事区分表	—	—
E-03	配置図・幹線設備図	1:100	1:200
E-04	分電盤図・機器姿図	—	—
E-05	電気設備 改修図	1:50	1:100
E-06	電気設備 既存図(撤去図)	1:50	1:100

機　械　設　備　図

番号	図面名称	縮尺(A1)	縮尺(A3)
M-01	機械設備　特記仕様書-1	—	—
M-02	機械設備　特記仕様書-2	—	—
M-03	工事区分表	—	—
M-04	機械設備　撤去器具・機器リスト	—	—
M-05	衛生設備　撤去図	1:30	1:60
M-06	暖房・換気設備　撤去図	1:30	1:60
M-07	機械設備　改修器具・機器リスト	—	—
M-08	衛生設備　改修図	1:30	1:60
M-09	暖房・換気設備　改修図	1:30	1:60

東御市

社会資本整備総合交付金事業	DATE	JOB NO.	２６４９
JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	SCALE A1 —	PART	建築意匠
SHEET NAME 図面リスト	SCALE A3 —	SEET NO.	B － 01

Save: 2025/09/09 09:51:46 Print: 2025/09/16.16:55 FN:K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥05社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実
2022.10.01

社会資本整備総合交付金事業　東御中央公園トイレ改修工事　　設計図(改修)

仕 様 書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　東御市鞍掛　177番2

2．工事種目

	建物名	構　造	階　数	延床面積	建設年	種　別
1	トイレ１	RC造+木造	平屋建て	64.98 ㎡	1996年	改修部

3．工事内容（概要）　詳細工事内容については、図面特記による。

1　仮設工事
2　解体工事　[内部：床仕上材、ライニング、建具、TB、作り付家具等　撤去・処分]
　　[外部：アルミサッシュ　撤去・処分]
3　金属工事
4　建具工事　[外部：アルミサッシュ改修、内部：LSD、TB等改修]
5　塗装　[外部：外壁塗装、軒天・金属部塗装　内部：木製額縁等塗装]
6　内装　[壁・天井　ボード張り]

4．工事範囲
※「2. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
⊙「2. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事項目＼工事種目				
2　仮設工事	○			
3　防水改修工事				
4　外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁				
モルタル塗り仕上げ外壁				
タイル張り仕上げ外壁				
塗り仕上げ外壁				
5　建具改修工事	○			
6　内装改修工事	○			
7　塗装改修工事	○			
8　耐震改修範囲以外の躯体改修工事				
耐震改修工事				
9　環境配慮改修工事				

Ⅱ　建築改修工事仕様

1．共通仕様
（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、監督員との協議による。
（2）（1）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書・同指針(建築工事編)(令和７年版)」(以下、「改修標仕」という。）に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）(令和７年版)」(以下「標仕」という。)による。
（3）改修標仕で、「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。
なお、関係法令等を遵守する場合は具体的な対応策について監督職員と協議すること。

2．特記仕様
（1）項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）本工事は特記あるものを除き、東御市契約規則及び工事請負契約書の記載事項による。
（4）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（5）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（6）G 印は「国等による環境物品等の調達等の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。なお、特定調達品目か否かの判断基準は監督職員との協議による。

章	項　目	特　記　事　項

① 一般共通事項

① 適用基準等
⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和 7 年版）
⊙工事写真の撮り方（改訂第３版）建築編（建設大臣官房官庁営繕部監修）
・建築物解体工事共通仕様書・同解説（国土交通省官房官庁営繕部監修令和 4 年版）

2　熱中症対策に資する現場管理費補正(試行)
・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して現場管理費の補正を試行的に実施する対象工事である。熱中症リスク軽減対策として、遮光ネット(足場に設置するものに限る)等の設置を予定し現場管理費の補正を求める場合は、受発注者間で必要な設置期間等を協議し、設計変更により対応する。
受注者は、事前（施工計画書等）に「熱中症リスク軽減に対する具体的対策内容」を記載し、竣工時に熱中症対策に資する現場管理の実績報告書を提出するものとする。

③ 工事実績情報の登録　※ 適用する　・適用しない　[1.1.4]

④ 火災保険等
工事目的物及び工事用材料（支給材料を含む）について、次により保険を付す。
保険の種類　・ 火災保険　※ 建設工事保険（ ⊙ 水災害特約を含む ）
保険期間　工事着手から工事目的物引渡し日まで

⑤ 書類の書式等　※公共建築工事標準書式による。

⑥ 品質計画　⊙建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。　(1.2.2)
※ 風速（Vo=30m/s）
※ 地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ※Ⅲ ・Ⅳ ）
・ 積雪区分　建告示第 1455 号　別表（　）

⑦ 電気保安技術者　⊙適用する　・適用しない　[1.3.3]

⑧ 条件明示項目
部分引渡し　⊙無　・有　範囲（　　）　[1.3.5]
引渡し時期：令和　年　月
部分使用　⊙無　・有　範囲（　　）
使用開始時期：令和　年　月
イメージアップ　・行う（　　）

9　週休2日工事
本工事は、週休２日工事の対象外工事である。
[1.3.12]

⑩ 発生材の処理等　※構外搬出適切処理

⑪ 環境配慮
揮発性有機化合物を放散させる建築材料等　[1.4.1]
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の 1）から 5）を満たすものとする。
1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
2）保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
3）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを 放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
5）1）、3）及び 4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

規制対象外
① JIS 及び JAS　のＦ☆☆☆☆ 品
② 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のある JAS 適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

第三種
① JIS 及び JAS の Ｆ☆☆☆ 品
② 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 3 項による国土交通大臣認定品
③ 旧 JIS の Eo 品
④ 旧 JAS の Fco 品

⑫ 材料の品質等　建築材料等　[1.4.2]
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。
材料・機材等の製造業者は、次の（1）から（6）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。
（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
（3）安定的な供給が可能であること。
（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。
※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁 平成18年2月15日）に準拠した証明書等を、監督職員に提出する。

⑬ 特別な材料の工法　標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑭ 石綿含有建材の調査
アスベスト含有建材の撤去に当たり、石綿障害予防規則第3条の規定に基づきあらかじめ事前調査を次の事項について行うこと。調査は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」及び「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針に基づく石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」を参考に行うこと（書面調査及び現地調査）。
調査範囲　※ 改修対象の全ての建材　・ 図示　[1.5.1]
調査事項
(a)アスベスト含有建材等の使用部位
(b)アスベスト含有建材等の種類、厚さ、使用数量
(c)アスベスト含有建材等使用数量の確認
(d)施工範囲等の確認
(e)廃棄物などの搬出方法
既存の石綿含有建材の調査報告書　（貸与 ⊗有　・ 無 ）
名称： 東御市中央公園公衆トイレ改修に伴うアスベスト分析調査業務 （ R6 年 12 月）
名称：　（　年　月）
調査結果
調査の結果を確認表及び図面等に記録し、監督職員に提出する。
調査結果、設計図書等と異なる場合は監督職員と協議する。
都道府県等への報告
⊙行う　石綿に関する事前調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより報告する。
・行わない
分析による石綿含有の調査　・ 行う

材料名（箇所）	調査方法（１材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析

採取箇所　※ 図示　・
分析対象　※ アスベスト ６種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）
分析方法　※ JIS A 1481-1～4　及び同等以上の精度を有する方法とする。
留意事項
施工調査は、石綿に関する一定の知見を有し、的確な判断ができる者が行うこと（石綿作業主任者技能講習修了者のうち石綿等の除去等の作業経験を有する者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士、建築物石綿含有建材調査者など）。
発注者から提供された石綿に係る分析調査結果を活用する場合には、調査の時期や方法、対象とした石綿の種類、調査範囲等について確認すること（特定建築材料における石綿含有の考え方について、平成18年9月5日付環境省水・大気環境局大気環境課長通知（環水大大発第060905003号）以前の調査においては、石綿1重量%を超えない建築材料について「石綿なし」とされている可能性があること、また、平成20年2月15日付環境省水・大気環境局大気環境課長通知（環水大大発第080215002号）以前の調査においては、クリソタイル、アモサイト及びクロシドライト以外の石綿（アンソフィライト、トレモライト及びアクチノライト）が使用されている可能性があるがこれらの分析が行われていないおそれがあること）。
施工調査にあたっては、内装等の内側など外側からの目視のみでは確認できない部分にもアスベスト含有建材がある場合があることに注意すること。

15　施工数量調査
調査範囲　（　　）　[1.6.2]
調査方法　（　　）
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※ 図示　[1.6.3]

16　埋設配管・配線調査
※ 既存資料調査
・ 放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
（1）作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
（2）放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
（3）露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
（4）付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
（5）躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。

⑰ 技能士　[1.7.2]

適用工事種別	技　能　検　定　作　業
防水改修工事	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・左官作業　・内外装板金作業
外壁改修工事	・左官作業　・タイル張り作業　⊙建築塗装作業
建具改修工事	⊙ビル用サッシ施工作業　⊙ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事	⊙ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　⊙鋼製下地工事作業 ⊙壁装作業　⊙木工工事作業　⊙タイル張り作業
塗装改修工事	⊙建築塗装作業
耐震改修工事	・鉄骨組立作業　・型枠工事作業　・とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
石工事	・石張り作業
植栽工事	・造園工事作業

⑱ 見本施工の実施　・実施する　⊙実施しない　[1.7.5]

⑲ 化学物質の濃度測定　[1.7.9]
設計書の仕様のみならず、ＶＯＣ等濃度を下げる施工方法を提案し、かつ、しゅん工前に「厚生労働省が定める室内濃度に関する指針値」によるＶＯＣ測定（対象物：ホルムアルデヒト、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン）を行い、指針値以下であることを確認する。また、測定により指針値を超えた場合、監督員との協議により必要な措置（強制換気等による対象物質の放散法、ＶＯＣ等の吸収、分解法他、工期の延期及び再検査等）を講ずるものとする。
測定結果について、測定時の室温を記載した報告書を監督職員に提出すること。
測定はアクティブ方式にて行う。
着工前の測定　・ 行わない　※行う
測定対象室　※ 図示　・居室
測定箇所数　⊗図示　・2箇所（各室1箇所　・着手前／⊙工事終了後）(アクティブ方式)
[1.8.2]

20　技術検査　中間技術検査　※行わない
・行う

㉑ 完成図等　完成図　[1.9.1～3][表 1.9.1]
※ 作成する

様式等	作成方法	部数	備考
建築主体原図	CADデータ	1	
総合版製本	見開きA1製本		
	見開きA3製本	3	

※　製本については、白焼きとし、背表紙に年度と工事名、表紙に年度、工事名、設計者名、工事監理者名、施工者名、工期しゅん工日を印刷する。
※　電気設備工事、機械設備工事等が別途発注されている場合は総合版で提出すること。
※　CADデータの提出は、CDにjww形式（SXF対応拡張緑色･線種)のものを１部提出する。

保全に関する資料
※ 作成する　提出部数２部
なお、「建築物等の利用に関する説明書」は、建築物等の利用に関する説明書作成の手引き（国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課保全指導室）を参考に、保全に関する事項について作成すること。

22　電子納品に関する事項（試行）
・適用する　※適用しない(国庫補助事業による工事)
竣工書類の電子納品について、受注者が電子媒体の提出を希望し、発注者（東御市の工事担当課）がこれを認めた場合に適用する。
電子納品は「工事書類の電子納品に関する運用の手引き」に基づくものとする（図面関係、写真関係のみ）。なお、電子納品における書類の作成費用等は工事費の諸経費（共通仮設費の率分）に含まれ、検査に要する費用においても受注者の負担とする。

㉓ 完成写真　⊙作成する　・作成しない
下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ（mm）
※カラー　※ 2L判 ・ｷﾔﾋﾞﾈ判	外部（ 5 ）内部（ 10 ）	※ 1	※ 100×125 以上
・カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（　）内部（　）	※ 2	・
※電子データ (ﾌﾙｻｲｽﾞｰｻﾑﾈｲﾙ)	外部（ 5 ）内部（ 10 ）	※ 1	※ 428 万画素以上 ※ 350 dpi以上

電子データは、RGB 各 8 ビット（フルカラー）、JPEG 形式最高画質としCD-Rにて提出する。
撮影業者は監督職員の承諾する撮影業者（建築完成写真撮影の実績のある業者）とする。

㉔ 設備工事との取合い　設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

㉕ 設計ＧＬ　※ 図示　⊙ 設計ＧＬ= 現状ＧＬ

㉖ 工事写真
⊙「営繕工事電子納品要領（令和3年度版）」による
⊙ 着工前状況及び完成後の工事写真について電子データで１部提出すること。

㉗ 工事数量総括表　・有り　⊙なし

東御市	社会資本整備総合交付金事業 JOB NAME　東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
		SCALE A1 —	PART 建築意匠
	SHEET NAME　改修工事特記仕様書（1）	SCALE A3 —	SEET NO. B－02

② 仮設工事

① 足場その他

足場を設ける場合、「改修標仕」2.2.1 (2) によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の (2) 手すり据置方式又は (3) 手すり先行専用足場方式により行うこと。 [2.2.1]

内部足場 [2.2.1]

種別 ※ きゃたつ、足場板等 ・ローリングタワー ・ [2.2.1]

外部足場 ・ 設置する ・ 設置しない

種別 ※ 枠組足場又はくさび緊結式足場 ・ 単管本足場 ・ 仮設ゴンドラ

・ 移動式足場

範囲 ※ 工事に必要な範囲

防護シートによる養生 ※ 行う ・ 行わない

材料、撤去材等の運搬 [2.2.1][表 2.2.1]

・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種

② 養生

既存部分の養生 ※ ビニルシート等 ・ [2.3.1]

既存家具等の養生 ※ ビニルシート等 ・

既存ブラインド、カーテン等の養生 ※ ビニルシート等（保管場所 ） ・

固定家具等の移動 ※ 行わない ・ 行う（図示）

3 仮設間仕切

仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表 2.3.1]

種 別	下 地	仕上材（厚さ mm）	塗 装	
・ A 種	※ 軽量鉄骨	・ 合板（※ 9.0 ・ ）	※ 無し	
※ B 種	・ 木下地	※ せっこうボード（※ 9.5 ・ ）	・ 片面	
・ C 種	単管下地	防炎シート		
仮設扉	※ 木製扉	※ 合板張り程度 ・	※ 無し	
	・ 鋼製扉	※ 片面フラッシュ程度 ・	・ 有り	

充てん材 ・グラスウール 32K(厚：50mm以上) ・

4 監督職員事務所

・ 既存建物内の一部を使用する ・ 構内に設置する [2.4.1]

※ 設けない

⑤ 工事用水

構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる（※ 有償 ・ 無償）

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※ 有償 ・ 無償）

7 交通誘導員

・配置する （ ） ※配置しない

③ 防水改修工事

1 降雨等に対する養生方法

※ 改修標仕3.1.3 (5) による。 ・ [3.1.3]

2 改修用ドレン

※ 設ける（POAS、POASⅠ、POD、PODⅠ、POS、POSⅠ、POX工法の場合） [3.2.5(3)]

（主防水材製造所の仕様による）

・ 設けない

3 既存下地の補修及び処置

補修箇所の形状、長さ、数量等 （※図示 ・ ） [3.2.6]

POS工法及びPOSI工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 [3.2.6(4)(ｳ)]

※ 改修標仕 3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による。

架台回り等の欠損部及び防水層末端部の納まり部 （※図示 ・ ）[3.2.6(6)]

4 既存防水層表面の仕上げ塗装

既存露出防水層表面仕上塗装の除去（M4AS、M4ASI、M4C、M4DI工法） [3.2.6(3)(ｲ)]

※ 除去する

・ 除去しない

既存塗膜防水層の表面仕上塗装の除去（L4X工法） [3.2.6(3)(ｶ)]

※ 除去する

・ 除去しない

5 アスファルト防水

[3.3.2、3][表 3.1.1][表 3.3.3～10]

防水改修工法の種類		施工箇所	新規防水層の種別
保護防水	・ P1B		・B-1 ※ B-2
	・ P1BⅠ		・BI-1 ※ BI-2
	・ P2AⅠ		・AI-1 ※ AI-2 ・AI-3
	・ P2A		・A-1 ※ A-2 ・A-3
露出防水	・ M4C		・C-1 ※C-2・C-3・C-4
	・ M3D ・P0D		・D-1 ※D-2
	・ P0DⅠ ・M3DⅠ		・D-I1 ※D-I2
	・ M4DⅠ		
屋内防水	・ P1E ・P2E		・E-1 ※E-2 （保護層は図示による）

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2]

※ 改修標仕 表3.3.3から表3.3.9による ・図示

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2]

※ 改修標仕 表3.3.3から表3.3.9による ・図示

押え金物の材質及び形状寸法 [3.3.2]

材質 ※アルミニウム ・図示

形状 ※L-30×15×2.0 ・図示

M3D、P0D、P0DⅠ、M3DⅠ、M4DⅠ工法の脱気装置 [3.3.3]

※ 設けない ・ 設ける（アスファルトルーフィング類製造所の指定による）

断熱工法の断熱材 （ ノンフロンのもの G ） [3.3.2]

屋根保護防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ

材質 ※押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材３種ｂＡ（ｽﾁﾝ層付き）（JIS A 9521）

厚さ(mm) ・30 ・50 ・100

屋根露出防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ

材質 ※発泡プラスチック断熱材（JIS A 9521）

硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材２種１号又は２号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの。

厚さ(mm) ・30 ・50 ・100

絶縁用シート

屋根保護防水密着工法または根保護防水絶縁工法の絶縁用シート

材質・厚さ(mm) ・ポリエチレンフィルム 厚0.15mm以上 ・図示

・フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・図示

屋根保護防水密着断熱工法または屋根保護防水絶縁断熱工法の絶縁用シート

材質・厚さ(mm) ※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・図示

保護コンクリート

設計基準強度 ※18N/mm² ・ N/mm²

スランプ ※15cm ・18cm

立上り部の保護工法 [3.3.2]

・ 乾式保護材 乾式保護材の材料 ・

・ コンクリート押え

・ モルタル押え（屋内等）

・ れんが押え（・図示 ・ ）

れんがの材料 ・JIS R 1250（普通れんが及び化粧れんが） ・

屋根露出防水絶縁断熱工法におけるルーフドレン回り及び立上り部周辺の [3.3.4(4)(ｲ)(g)]

断熱材の張りじまい位置

※図示 ・

平場の保護コンクリートの厚さ [3.3.5(4)]

こて仕上げの場合 ※80mm以上 ・

床面の仕上りの平たんさ ※ａ種 ・ｂ種 ・ｃ種 [表8.1.5]

床タイル張り等の場合 ※60mm以上 ・

保護層等の屋上排水溝

・ モルタル金こて仕上げ ※ 図示 [3.3.5(7)]

6 改質アスファルトシート防水

[3.4.2][表 3.1.1][3.4.3][表 3.4.1～3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	厚さ(mm)
・ M4AS工法		・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2	
・ M3AS工法		・AS-T3 ・AS-T4	
・ P0AS工法		・AS-J1 ・AS-J3	
・ M3ASⅠ工法		・ASⅠ-T1 ・ASⅠ-J1	
・ M4ASⅠ工法			
・ P0ASⅠ工法			

改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2]

※改修標仕 表3.4.1から表3.4.3による ・図示

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2]

※改修標仕 表3.4.1から表3.4.3による ・図示

押え金物の材質及び形状寸法 [3.4.2]

材質 ※アルミニウム ・図示

形状 ※L-30×15×2.0 ・図示

屋根露出防水断熱工法の断熱材 （ ノンフロンのもの G ） [3.4.2]

材質 ※発泡プラスチック断熱材（JIS A 9521）

硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材２種１号又は２号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの。

厚さ(mm) ・30 ・50 ・100

M3AS、P0AS、M3ASⅠ、M4ASⅠ、P0ASⅠ工法の脱気装置 [3.4.3]

※ 設けない ・ 設ける（改質アスファルトシート製造所の指定による）

M3ASⅠ、M4ASⅠ、P0ASⅠ工法における防湿層の設置 [表3.4.3(注)]

※ 設ける ・ 設けない

7 合成高分子系ルーフィングシート防水

[3.5.2][表 3.1.1][3.5.3][表 3.5.1,2]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料等	使用分類
・ P0S工法	屋根（２）	・S-F1 ・S-F2	ｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ系	※非歩行
・ P0SⅠ工法		・S-M1 ・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・ S4S工法		・SI-F1 ・SI-F2		
・ S4SⅠ工法		・SI-M1 ・SI-M2		
・ S3S工法		・S-F1 ・S-F2		
・ S3SⅠ工法		・SI-F1 ・SI-F2		
・ M4S工法		・S-M1 ・S-M2		
・ M4SⅠ工法				
・ P1S工法		・S-C1	・カラー	

既存防水層（立上り部等）の撤去 [3.1.4]

（POS（機械）、POSI（機械）、M4S、M4SI、S4S（機械）、S4SI（機械）の場合）

※ 除去する（ルーフィング類製造所の仕様による）

・ 除去しない

ルーフィングシート(JIS A 6008)の種類及び厚さ [3.5.2]

※改修標仕 表3.5.1から表3.5.2による ・図示

絶縁用シート [3.5.2]

材質 ※発泡ポリエチレンシート ・図示

固定金具の材質及び寸法形状 [3.5.2]

材質 ※ステンレス鋼板 ・防錆処理した鋼板 ・図示

厚さ(mm) ※0.4 ・

断熱工法の断熱材 （ノンフロンのもの G ） [3.5.2]

機械式固定工法の断熱材の材質及び厚さ

材質 ※発泡プラスチック断熱材（JIS A 9521）

硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材２種１号又は２号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとし、ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材は適用しない。

厚さ(mm) ・30 ・50 ・100

接着工法の断熱材の材質及び厚さ

材質 ※発泡プラスチック断熱材（JIS A 9521）

硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材２種１号又は２号の場合は、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとし、ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材の場合は、密度及び熱伝導率が、JIS A 9521の規格に準ずるものとする。

厚さ(mm) ・30 ・50 ・100

脱気装置の種類 [3.5.3]

※ 設けない ・ 設ける（ルーフィングシート製造所の指定による）

仕上塗料の種類、使用量 （種類 ・ 使用量 kg/m²） [表3.5.1～2]

※ 設けない ・ 設ける（ルーフィングシート製造所の指定による）

屋内保護密着工法（S-C１）の場合のモルタル塗り厚さ [表3.5.3]

※（ ）mm

プレキャストコンクリート下地の目地処理 [3.5.4]

※図示 ・

プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り（S-F1, SI-F1の場合） [3.5.4]

※図示 ・

一般部のルーフィングシートの張付け（機械式固定工法の場合） [3.5.4]

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※適用する

・適用しない

立上り部の保護モルタル 塗厚 ※7mm以下 ・

8 塗膜防水

[表 3.1.1][3.6.3][表 3.6.1～2]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種別	仕上げ塗料塗り
・ P0X工法		・ X-1 ・ X-1H	シリコン系
・ L4X工法		・ X-2 ・ X-2H	・ シルバー
・ P1Y工法		※ Y-2 ・	・ カラー
・ P2Y工法			

既存防水層（立上り部等）の撤去 [3.1.4]

※ 除去する（ルーフィング類製造所の仕様による）

・ 除去しない

脱気装置の種類 [3.6.3]

※ 設けない ・ 設ける（主材料製造所の指定による）

保護層の仕様 [表3.6.3]

※ 図示

9 シーリング

シーリング改修工法の種類 [3.7.4～7][表 3.7.1]

・ シーリング充填工法 ⊙シーリング再充填工法

・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法

シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2][表 3.7.1]

※ 下表以外は、改修標仕表 3.7.1 を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外部建具周り	MS-2

仕上げを行わない施工箇所（ ）

シーリング材の目地寸法 [3.7.3]

※標仕9.7.3(1)による ・

接着性試験 [3.7.8]

※行う（※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験） ・行わない

10 とい

といの材種 [3.8.2][表 3.8.1]

・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管

・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VP) G

・ 表面処理鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・アルミ既製品

とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 [3.8.2][表 3.8.2]

※ 改修標仕 表3.8.2による ・図示

※ 多雪地域（軒どいの取付間隔は0.5m以下）

降雨の場合の養生 [3.8.3]

・

鋼管製といの防露 [3.8.2][表 3.8.4]

・ 次の箇所は行わない（ ）

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量

※ 規制対象外 ・ 第三種

掃除口 ※ 有り ・ 無し

たてどい受け金物の取付け [3.8.3]

※ 図示 ・ 標仕 13.5.3 (d)(2) による

11 アルミニウム製笠木

[3.9.2][表 3.9.1]

種 類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備 考
・ 250形	1.6以上	※ AB-1 又は	固定方法及び	付属部品の材料及びコーナー
・ 300形	1.8以上	BB-1 種	間隔は品質計	部・突当り部等の役物は、笠
・ 350形	2.0以上	・ BB-2 種	画で定めたも	木本体の製造所の仕様による。
・ 100形		（ ）	の	

板材折曲げ形の笠木本体幅及び板厚 ※ 図示 ・ [3.9.3]

工法

既存笠木等の撤去 ・ 行う （範囲 ※ 図示 ・ ）

下地補修の工法 ※ 図示

板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示

建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法

※適用する

・適用しない

12 折板葺

(13.3.3)(表 13.2.1)

形 式	※ 重ね形 ・ はぜ締め形 ・ かん合形
形状(mm)	山高（ 90 ） 山ピッチ（ 300 ） 板厚 ※ 0.6 ・ 0.8
材 料（規格等）	※ 塗装溶融 55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ 150) ・
軒先面戸板	※ 有り ・ 無し
断 熱 材	※ 有り（種別：GW 厚さ： 100 mm） ・ 無し
	防火性能 ※ 30 分耐火 ・ 無し

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

・図示による ・

耐雪性能に応じた性能

・適用する（・図示 ・ ） ・適用しない

折板けらば納め ※けらば包みによる方法 ・

保証書

※ 受注者及び施工業者連名で、保証書を提出すること。

保証期間 10年

4 外壁改修工事

1 施工数量調査

調査範囲 ※ 外壁改修範囲 ・図示の範囲 [1.6.2]

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。

塗り仕上げについては、コンクリート、モルタル、仕上げ塗材表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

調査報告書の部数 ※ ２部

2 コンクリート打放し仕上げ外壁の改修

材料 [4.2.4]

Ｕカットシール材充填工法

・ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング

・ 可とう性エポキシ樹脂

・ ポリマーセメントモルタル

シール工法

・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

充填工法

・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

※ 樹脂注入工法 [4.2.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	備 考
※ 自動式低圧エポキシ	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300	※	
樹脂注入工法		・	・	
・ 手動式エポキシ樹脂	0.2以上～0.3 未満	※ 50～100	※ 40 ・	
注入工法	0.3以上～0.5 未満	※ 100～200	※ 70 ・	
・ 機械式エポキシ樹脂	0.5以上～1.0 以下	※ 150～250	※ 130 ・	
注入工法		・	・	

注入材料

※ 建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024） ・低粘度形 ・中粘度形

・

コア抜取りによる確認 ※ 行わない

・ 行う（抜取り部の補修方法： ）

※ Ｕカットシール材充填工法 [4.2.6]

充填材料	品質・規格等	備 考
・ シーリング材	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂		

※ シール工法 （ひび割れ幅 0.2mm未満） [4.2.7]

・ パテ状エポキシ樹脂

・ 可とう性エポキシ樹脂

※ 充填工法 [4.2.8]

・ エポキシ樹脂モルタル

・ ポリマーセメントモルタル

3 モルタル塗り仕上げ外壁の改修

既存モルタル塗りの撤去 [4.3.2][4.3.3][4.3.3]

・ 行う（※ 全面 ・ 図示の範囲）

材料 [4.3.5]

Ｕカットシール材充填工法

・ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング

・ 可とう性エポキシ樹脂

・ ポリマーセメントモルタル

シール工法

・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

充填工法

・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法

モルタル（ ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料）

既製目地材 ・ 適用する（形状 ※ 図示 ・ ）

アンカーピンニング注入工法

※ エポキシ樹脂

・ ポリマーセメントスラリー

アンカーピンの材質

※ ステンレス SUS 304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの

・

注入口付アンカーピンニング注入工法

※ エポキシ樹脂

・ ポリマーセメントスラリー

注入口付アンカーピンの材質

※ ステンレス SUS 304、呼び径外径 6mm

・

※ 樹脂注入工法 [4.3.6]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	備 考
※ 自動式低圧エポキシ	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300	※	
樹脂注入工法		・	・	
・ 手動式エポキシ樹脂	0.2以上～0.3 未満	※ 50～100	※ 40 ・	
注入工法	0.3以上～0.5 未満	※ 100～200	※ 70 ・	
・ 機械式エポキシ樹脂	0.5以上～1.0 以下	※ 150～250	※ 130 ・	
注入工法		・	・	

注入材料

※ 建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024） ・低粘度形 ・中粘度形

・

コア抜取りによる確認 ※ 行わない

・ 行う（抜取り部の補修方法： ）

※ Ｕカットシール材充填工法 [4.3.7]

充填材料	品質・規格等	備 考
・ シーリング材	※１成分形又は２成分形 ポリウレタン系シーリング材 ・	ポリマーセメントモルタルの充填 ※行わない ・ 行う
・ 可とう性エポキシ樹脂		

東御市

社会資本整備総合交付金事業	DATE	JOB NO.	2649
JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	SCALE A1 —	PART	建築意匠
SHEET NAME 改修工事特記仕様書（2）	SCALE A3 —	SEET NO.	B - 03

※ シール工法 （ひび割れ幅 0.2mm未満） [4.3.8]
・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ 充填工法（モルタル撤去部 0.25㎡／1ヵ所 以下の場合） [4.3.9]
・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
・ モルタル塗替え工法 [4.3.10]
塗厚 ※ 図示
塗厚 25mm を超える場合の補強 ※ 行う ・行わない ・図示

・ アンカーピンニング注入工法 [4.3.11～16]

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数（本／㎡）		注入口の箇所数（箇／㎡）		充填量 注入量
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・	―	―	※ 25ml ・
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 25ml ・
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 50ml ・
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	―	―	※ 25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 50ml ・

4 タイル張り仕上げ外壁の改修

既存タイル張りの撤去 [4.4.2～4.4.4]
・ 外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲
撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ

材料 [4.4.5]
アンカーピンニング注入工法
※ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントスラリー
アンカーピンの材質
※ ステンレス SUS 304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンニング注入工法
※ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントスラリー
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス SUS 304、呼び径外径 6mm
・
タイル張替え工法及びタイル部分張替え工法
タイル部分張替え工法用張付け材料
※ ポリマーセメントモルタル
・ 外装タイル接着剤張りの接着剤（目地詰め ※ 行う ・ 行わない）
タイルの種類

主な用途の施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施釉	無釉	あり	なし	標準	特注		あり	なし	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする。

シーリング材
打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・
伸縮調整目地、その他の目地 ※ 変性シリコーン系 ・

※ 樹脂注入工法 [4.4.6]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	備 考
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 以下	※ 200～300 ・	※ ・	
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	※ 50～100	※ 40 ・	
	0.3以上～0.5 未満	※ 100～200	※ 70 ・	
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0 以下	※ 150～250 ・	※ 130 ・	

注入材料
※ 建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024） ・低粘度形 ・中粘度形
・
コア抜取りによる確認 ※ 行わない
・ 行う（抜取り部の補修方法： ）
・ タイル部分張替え工法 [4.4.7]
※ 張替え面積が0.25㎡を超える場合は、タイル張替え工法による

・ タイル張替え工法
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地 [4.4.8]
位置 ※ 改修標仕 表4.4.2による ・ 図示

タイルの見本焼及び試験張り [4.4.8]
見本焼 ・ 行う ※ 行わない
試験張り ・ 行う ※ 行わない

セメントモルタルによるタイル張り
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法 [4.4.8]
・ 目荒し工法（改修標仕4.3.10(3)(ｳ)による）
・
下地モルタルの接着力試験（ ・ 行う ・ 行わない） [4.4.8]
壁タイル張りの工法 [4.4.8][表4.4.5]
内外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り
内外装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り

有機系接着剤によるタイル張り [4.4.8]
下地調整材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理方法 [4.4.8]
・ 目荒し工法（改修標仕4.3.10(3)(ｳ)による）
・

5 仕上塗材仕上げ外壁等の改修

下地調整材塗りの接着力試験（ ・ 行う ・ 行わない） [4.4.8]
壁タイル張りの工法 [4.4.8]
外装タイル ※ 外装タイル接着剤張り
ユニットタイル ※ 外装タイル接着剤張り
目地詰め（ ※ 行う ・ 行わない） [4.4.8]

・ アンカーピンニング注入工法 [4.4.9～4.4.14]

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数（本／㎡）		注入口の箇所数（箇／㎡）		充填量 注入量
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・	―	―	※ 25ml ・
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 25ml ・
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 50ml ・
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	―	―	※ 25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 25ml ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 50ml ・

・ 薄付け仕上塗材 [4.5.2][表4.5.1]

呼び名	仕上げの形状	工 法		
・ 外装薄塗材Ｓｉ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	・吹付け		
	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ﾛｰﾗｰ塗り		
・ 可とう形外装薄塗材Ｓｉ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	・吹付け		
	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ﾛｰﾗｰ塗り		
※ 外装薄塗材Ｅ（見上げ面）	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	・吹付け		
	・ 平たん状 ・ 凹凸状	・こて塗り		
	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ﾛｰﾗｰ塗り		
	・ 着色骨材砂壁状	・吹付け		
		・こて塗り		
・ 可とう形外装薄塗材Ｅ	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	・吹付け		
	・ 平たん状 ・ 凹凸状	・こて塗り		
	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ﾛｰﾗｰ塗り		
・ 防水形外装薄塗材Ｅ	・ ゆず肌状 ・ さざ波状	・ﾛｰﾗｰ塗り		
	・ 凹凸状	・吹付け		
・ 外装薄塗材Ｓ	・ 砂壁状	・吹付け		

・ 厚付け仕上塗材 [4.5.2][表4.5.1]

呼び名	仕上げの形状	工 法		
・ 外装厚塗材Ｃ	・ 吹放し ・ 凸部処理	・吹付け		
	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・こて塗り		
・ 外装厚塗材Ｓｉ ・ 外装厚塗材Ｅ	・ 吹放し ・ 凸部処理	・吹付け		
	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし	・こて塗り ・ﾛｰﾗｰ塗り		

・ 複層仕上塗材 [4.5.2][表4.5.1]

呼び名	仕上げの形状	工 法	耐候性	溶媒	外観	上塗材 樹脂
・ 複層塗材ＣＥ ・ 複層塗材ＲＥ ・ 複層塗材Ｓｉ ・ 複層塗材Ｅ	・ 凸部処理 ・ 凹凸状	・吹付け	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	※ 水系 ・ 溶剤系	・ つやあり ・ つやなし ・ ﾒﾀﾘｯｸ	・ ｱｸﾘﾙ系 ・ ｼﾘｶ系 ・ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 ・ ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系 ・ ふっ素系
	・ ゆず肌状	・ﾛｰﾗｰ塗り				
・ 可とう形複層塗材ＣＥ	・ 凸部処理 ・ 凹凸状	・吹付け				
	・ ゆず肌状	・ﾛｰﾗｰ塗り				
・ 防水形複層塗材ＣＥ ・ 防水形複層塗材ＲＥ	・ 凸部処理 ・ 凹凸状	・吹付け				
※ 防水形複層塗材Ｅ	・ ゆず肌状	・ﾛｰﾗｰ塗り				

・ 可とう形改修用仕上塗材 [4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]

呼び名	仕上げの形状	工 法	耐候性	溶媒	外観	上塗材 樹脂
※ 可とう形改修塗材Ｅ (○) 可とう形改修塗材ＲＥ ・ 可とう形改修塗材ＣＥ	・ 平たん状	・ﾛｰﾗｰ塗り	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	※ 水系 ・ 溶剤系	・ つやあり (○) つやなし ・ ﾒﾀﾘｯｸ	・ ｱｸﾘﾙ系 ・ ｼﾘｶ系 ・ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系 ・ ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系 ・ ふっ素系
	・ さざ波状	・ﾛｰﾗｰ塗り				
	(○) ゆず肌状	(○)ﾛｰﾗｰ塗り				

既存塗膜等の除去及び下地処理及び下地調整 [4.5.4][表4.5.4～8]

工 法	処理範囲	下地面の補修
・ サンダー工法	※ 既存仕上面全体 ・ （既存塗膜の除去範囲は処理面積の 30 %とする）	4-1又は4-3による
※ 高圧水洗工法 加圧力は試験施工による	※ 既存仕上面全体 ・ （既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする）	
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上面全体 ・	
(○) 水洗い工法	※ 上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

下地調整材 [4.5.5]
(※) 下地調整塗材（※Ｃ－１ (○)Ｃ－２ ・ＣＭ－２ ・ ）
・ ポリマーセメントモルタル
・ 防水形仕上げ塗材主材を使用

マスチック塗材塗り [4.6.2][表4.6.1]
工種 ・Ａ種 ・Ｂ種

⑤ 建具改修工事

① 改修工法の適用 [5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
(○) アルミニウム製建具		・	(○)	※ 建具表による ・ 図示
・ 鋼製建具	・ 外部	・	・	※ 建具表による ・ 図示
	・ 内部	・	・	※ 建具表による ・ 図示
・ 鋼製軽量建具		・	・	※ 建具表による ・ 図示
・ ステンレス製建具		・	・	※ 建具表による ・ 図示

2 見本の製作等
建具見本製作 ・ 行う（建具符号： ） ※ 行わない [5.1.5]
特殊な建具の仮組 ・ 行う（建具符号： ） ※ 行わない

3 防犯建物部品
・ 適用する（図示） ・ 適用しない [5.1.7]

④ アルミニウム製建具
外部に面する建具 [5.2.2][表 5.2.1]

種 別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	※ 70 ・	※ 図示
・Ｂ種	Ｓ(○)－５				
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ(○)－４	Ｗ(○)－５	100	

表面処理 ※ BB-1種 (○) BB-2種（・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ (○)ｽﾃﾝｶﾗｰ） [5.2.4][表 5.2.2]
水切板、ぜん板等 ※図示による [5.2.5]
結露水の処理方法 ※図示による [5.2.4]
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級（ ） [5.2.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ Ⓖ (○) 適用する 断熱性の等級（H-2）
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級（ ）
屋内建具 [5.2.4][表 5.2.2]
表面処理 ※ BC-1 種又は BB-1 種
・ BC-2 種又は BB-2 種（・ﾌﾞﾗｳﾝ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

⑤ 網戸
防虫網の材料 [5.2.3]
網の種別 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製（SUS 316）
形 式 ※ 外部可動式 ・ 固定式

6 樹脂製建具
外部に面する建具 [5.3.2][表 5.3.1]

種 別	耐風圧性	気圧性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４	※ 70 ・	※ 図示
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５		
・Ｃ種	Ｓ－６				

遮音性能等級 ・Ｔ－１種 ・Ｔ－２種
断熱性能等級 ・Ｈ－４種 ・Ｈ－５種 ・Ｈ－６種 ・Ｈ－７種 ・Ｈ－８種
日射熱取得性等級 ・Ｎ－１種 ・Ｎ－２種 ・Ｎ－３種
表面色 ※ 標準色 ・特注色 [5.3.4]

7 鋼製建具
防火戸の指定 ※ 建具表による [5.1.4]
特定防火設備の戸 ・ 適用する [5.4.4]
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表 5.4.1]
耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 [5.4.2]
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ） [5.4.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級（ ） [5.4.2]
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ） [5.4.2]
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm [5.4.4]
又は有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板類の厚さ ※図示
くつずりの仕上 ※ ステンレス鋼板 ＨＬ [5.4.4]

⑧ 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2]
防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ） [5.5.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級（ ） [5.5.2]
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ） [5.5.2]
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm [5.5.4]
又は有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板類の厚さ ※図示

9 ステンレス製建具
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.6.2]
耐風圧性の適用は建具表による [5.6.3]

施工箇所	鋼材の種類
屋外	※ SUS304又はSUS430JIL
屋内	※ SUS430 ・ SUS304又はSUS430JIL

特定防火設備の戸 ・ 適用あり [表 5.6.1]
表面仕上げ ※ ＨＬ程度 ・ 鏡面仕上げ [5.6.4]
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（補強あり） [5.6.5]
くつずりの仕上 ※ ステンレス鋼板 ＨＬ

木製建具
建具材の加工、組立時の含水率 ※ Ａ種 ・ Ｂ種 [5.7.2][表5.7.1]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ Ｆ☆☆☆☆ ・ [5.7.2]
枠、くつずりの材料 ・ 建具表による ・ [5.7.2]

・フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2]
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備 考
・普通合板	接着の程度 ※水掛り箇所１類、その他２類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹１等 ・（ ）	
・天然木化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所１類、その他２類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹１等 ・（ ）	
・特殊加工化粧合板	接着の程度 ※水掛り箇所１類、その他２類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹１等 ・（ ）	
・ＭＤＦ	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）	

表面材のホルムアルデヒド放散量 ※Ｆ☆☆☆☆ ・
表面板の厚さ ※表5.7.6による [5.7.3]
引戸の定規縁 ・召し合せかまちいんろう付きとする [5.7.4]

・かまち戸 [5.7.2][5.7.3][表5.7.9]
かまち樹種（ タモ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・

・ふすま [5.7.2][表5.7.3][5.7.3][表5.7.7][5.7.4][表5.7.10]
種別、工法 ・Ⅰ型 ・Ⅱ型
上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・

・戸ぶすま [5.7.2][5.7.3][表5.7.7][5.7.4]
表面材の種類、品質等（ ）
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

・紙張り障子 [5.7.2][表5.7.4][5.7.3][表5.7.11]
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

⑪ 建具用金物
金物の種類・見え掛り部の材質等 [5.8.2]
※改修標仕 表5.8.1及び適用（備考欄の特記事項も含め）は、建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標仕 表5.8.2による ・
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標仕 表5.8.3による ・
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標仕 表5.8.4による ・
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標仕 表5.8.3による ・
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
・建具表による ・

⑫ 鍵
マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない [5.8.4]
鍵の製作本数等 ※ ３本１組 ・（ ）本 鍵箱 ※ 必要 ・ 不要

13 自動ドア開閉装置
戸の開閉方式 ・図示による ・ [5.9.2]
自動ドア開閉装置の性能 [5.9.2]
駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合、改修標仕 表5.9.1による
防錆の適用 ・適用する ・適用しない
・
車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合、改修標仕 表5.9.2による
防錆の適用 ・適用する ・適用しない
・
検出装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合、改修標仕 表5.9.3による
防錆の適用 ・適用する ・適用しない
・
引き戸用検出装置の種類は、改修標仕 表5.9.4による [5.9.2]
種類 ・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー
・電波センサー ・タッチスイッチ（・無線式 ・光電式）・押しボタンスイッチ
・車椅子使用者便房スイッチ（・大形（開・閉）押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ）
凍結防止装置 ・適用する ・適用しない [5.9.2]

14 自閉式上吊り引戸装置
性能 ※改修標仕 表5.10.1による ・図示による [5.10.3]

15 重量シャッター
シャッターの種類 [5.11.2]

シャッターの種類	開閉方式の種類
・ 管理用シャッター	※ 電動式（手動併用） ・ 手動式
・ 外壁用防火シャッター	※ 電動式（手動併用） ・ 手動式
・ 屋内用防火シャッター	※ 電動式（手動併用） ・ 手動式
・ 防煙シャッター	※ 電動式（手動併用） ・ 手動式

外部開口部に設ける重量シャッター　耐風圧強度（　）pa
安全装置の設置箇所 [5.11.2]
急降下制御装置または急降下停止装置の設置個所　・図示による　・
障害物感知装置の設置個所　・図示による　・
危害防止機構の設置個所　・図示による　・
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない [5.11.2]

スラット及びシャッターケース用鋼板 [5.11.3]
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ステンレス鋼板の種類 [5.11.3][5.6.3]
※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1　・

16　軽量シャッター
開閉方式　※ 手動式　・ 電動式（手動併用） [5.12.2][表5.12.1]
耐風圧強度（　）pa
電動式の場合の安全装置
障害物感知装置の設置個所　・図示による　・
スラットの材質の種類 [5.12.3]
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※ Z06又はF06　・
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※ AZ90　・
スラットの種類 [5.12.4]
・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形

16　オーバーヘッドドア
区分、材料 [5.13.2][5.13.3]

ｾｸｼｮﾝ材料	風圧力区分 (Pa)	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙの材料
※ ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ ・ ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ	・125 ・100 ・75 ・50	※ ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ ﾁｪｰﾝ式 ・ 電動式	・ ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ ﾊﾟｰﾃｶﾙ形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所　・図示（　）

⑰　ガラス
適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による [5.14.2]
・フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
・図示（※建具表　・　）による　・
・型板ガラスの厚さによる種類
・図示（※建具表　・　）による　・
・網入板ガラス及び線入板ガラス　網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
・図示（※建具表　・　）による　・
・合わせガラス　材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類
・図示（※建具表　・　）による　・
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類
・図示（※建具表　・　）による　・
・熱線吸収板ガラス　板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類
・図示（※建具表　・　）による　・
⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮熱性による区分、乾燥気体の種類
⊙図示（※建具表　・　）による　・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮へい性及び耐久性の区分
・図示（※建具表　・　）による　・
・倍強度ガラス　材料板ガラスの種類、厚さによる種類
・図示（※建具表　・　）による　・

ガラス留め材及び溝の大きさ [5.14.2][5.14.3][図5.14.1]

建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ 建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル ・	※ 建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	・ 建築用ガスケット ・グレイジングビート	※ 建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・
ステンレス製	※ シーリング材 ・	※ 建具の製造所の仕様による ・

⑱　ガラスブロック積み
材料等 [5.14.5]

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調 クリア	色調 乳白	目地幅（mm） 平積み	目地幅（mm） 曲面積み	伸縮調整目地位置 (mm)
⊙ 正方形	⊙ 145×145	95	・	⊙	※8～15 ・15～25	外側 ※15以下 内側 ※6以上 ・	※6mm以下ごとに幅10～25 ・図示 ・
	・200×200	95	・ ・	・ ・			
・ 長方形	・		・	・			
	・		・	・			

壁用金属枠及び補強材
・設ける（形状　・図示　・　）　・設けない
力骨　材質　※ステンレス鋼（SUS304）
寸法　※径5.5mm
形状　※はしご形状複筋及び単筋
化粧目地モルタルの色（　）
シーリング材の種類　（　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　・図示による　・
形状　・図示による　・
工法 [5.14.5]
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※適用する　・適用しない
木下地の場合の壁用金属枠の取付け間隔（　）
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示による

19　ガラス用フィルム

用途による区分	記号	貼り面	性能値
※ ガラス飛散防止フィルム	ＧＳ	※ 内貼り　・ 外貼り	飛散防止性能ＡＢ
・ 日射調整フィルム	ＳＣ		
・ ガラス貫通防止フィルム	ＳＦ		

品質　JIS A5759 による

⑥ 内装改修工事

1　改修範囲
既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6.1.3]
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・ 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲

2　既存床の撤去並びに下地補修
ビニル床シート等の除去　※ 仕上げ材のみ（接着剤とも） [6.2.2]
・ 下地モルタルとも（※ 図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・ 機械の除去工法　・ 目荒工法
改修後の床の清掃範囲　※ 改修箇所の室内

3　既存壁の撤去並びに下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
※ 図示
・ モルタル塗り（塗り厚 25mm を超える場合の補強　※ 行う　・ 行わない）

4　木材一般　Ⓖ
木材の品質 [6.5.2]
木材の現場における含水率　※A種　・B種
※信州木材認証製品又は同等品(長野県産材)　・改修標仕 6.5.2　・市販品
・保存処理木材を適用する箇所（　）
・間伐材等※1)：間伐材、林地残材又は小径木であること。
注1　間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。

5　製材
・「製材の日本農林規格」による下地用製材 [6.5.2][表6.5.1]

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※ 2級 ・	※ Ａ種　・ Ｂ種 ・	
		※ 2級 ・	※ Ａ種　・ Ｂ種 ・	
		※ 2級 ・	※ Ａ種　・ Ｂ種 ・	

・「製材の日本農林規格」による造作用製材 [6.5.2][表6.5.1]

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※ 上小節 ・	※ Ａ種　・ Ｂ種 ・	
見え掛り面以外		※ 小節以上 ・	※ Ａ種　・ Ｂ種 ・	
			※ Ａ種	

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 [6.5.2][表6.5.1]

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※ 1等 ・	※ 10%以下 ・ Ａ種　・ Ｂ種	
		※ 1等 ・	※ 10%以下 ・ Ａ種　・ Ｂ種	

・「製材の日本農林規格」以外の製材 [6.5.2][表6.5.1][表6.5.2][6.5.5]

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理
見え掛り面	25	（　） 造作材の場合 (※Ａ種　・Ｂ種)	※ Ａ種　・ Ｂ種 ・	・ 行う ・ 行わない
		（　） 造作材の場合 (※Ａ種　・Ｂ種)	※ Ａ種　・ Ｂ種 ・	・ 行う ・ 行わない

⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
額・枠		ツガ・マツ	25		※ 1等　・ 2等
					※ 1等　・ 2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等
		化粧薄板： 芯材：				※1等　・2等

⊙「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)
額・枠	ツガ・マツ	25		※ 15以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率(%)
	化粧薄板： 芯材：				※ 15以下 ・
	化粧薄板： 芯材：				※ 15以下 ・

7　造作用単板積層材
・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 [6.5.2][6.5.5]

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	防虫処理
			・ 有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・ 無し（等級：・1等・2等・3種）	・ 行う ・ 行わない

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 [6.5.2][6.5.5]

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質（表面の化粧加工）	含水率(%)	防虫処理
		・ 有り（加工：・天然木化粧加工 ・塗装加工） ・ 無し（　）	※ 14以下 ・	・ 行う ・ 行わない

・ＣＬＴ（直行集成板） [6.5.2]

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)

⑧　合板等
・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2][6.5.5]

	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
		※ 5.5 ・ 9.0		※ 1類 ・ 2類	広葉樹　・1等　※2等以上 針葉樹 ※C-D以上　・	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 [6.5.2][6.5.5]

施工箇所	品名	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	板面の品質	保存処理	防虫処理	強度等級
		※ 12 ・	・1級 ※2級以上		・ ※C-D以上		・行う ・行わない	

接着の程度　常温湿潤状態となる場所での使用
※特類　・
その他の場合
※1類以上　・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [6.5.2][6.5.5]

施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
				・ 1類 ・ 特類	・行う ・行わない

⊙「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6.5.2][6.5.5]

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
軒天	シナ	12.0	・ 1類 ⊙2類	・行う ・行わない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [6.5.2][6.5.5]

施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		※ 12 ・	※ 1類 ・ 2類		・ オーバーレイ ・プリント ・塗装	・行う ・行わない

・パーティクルボード [6.5.2]

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※ 13ﾀｲﾌﾟ ・	※ MR1(M)又は MR2(p)ﾀｲﾌﾟ ・	・ 難燃 ・	※ 15 ・

・構造用パネル [6.5.2]

施工箇所	品　名	寸法(mm)

・ＭＤＦ [6.5.2]

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑨　接合具等
造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
⊙適用する（※隠し釘打ち　・　）　・適用しない
諸金物の形状、寸法及び材質 [6.5.3][表6.5.3～表6.5.5]
※改修標仕6.5.3(2)(ｱ)による
接着剤（木れんが用接着含む）のホルムアルデヒド放散量 [6.5.3][6.5.4]
※Ｆ☆☆☆☆　・

10　防腐・防蟻処理
・薬剤による防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 [6.5.5]
適用部材：（　）
・工場における薬剤の加圧注入処理による防腐・防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 [6.5.5]

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※ 薬剤の製造所の仕様による ・	・
	・	・

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 [6.5.5]
適用部材：（　）
・合板等の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理 [6.5.5]
適用部材：（　）

11　鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組
間仕切軸組に用いる木材 [6.5.6]
※（製剤を用いる場合）　杉又は松　・
床組に用いる木材
※（製剤を用いる場合）　杉又は松　・

12　窓、出入口その他
※（製剤を用いる場合）　吊元枠、水掛りの下枠及び敷居は、ひのき、その他は、松又は杉
・ [6.5.7]

13　床板張り
縁甲板及び上がりがまちに用いる木材 [6.5.8]
※（製剤を用いる場合）　ひのき　・

14　壁及び天井下地
※（製剤を用いる場合）　杉又は松　・ [6.5.9]

15　軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類 [6.6.2][表 6.6.1]
屋外（※ 25 形　・ 19 形）
屋内（※ 19 形　・ 25 形）
・屋外の場合の形式及び寸法 [6.6.3]
野縁受、つりボルト、インサートの間隔及び周辺部端からの距離
・図示による　・
野縁の間隔
・図示による　・
工法 [6.6.4]
・既存の埋込インサート　・ 使用する　・ 使用しない
・あと施工アンカーの材料　・ 金属系アンカー　・ 接着系アンカー
・あと施工アンカーの引抜き試験　・ 行う　・ 行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　・図示による　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所、補強方法　・図示による　・
・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
補強箇所、補強方法　・図示による　・

⑯　軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナ等の種類 [6.7.3]
※改修標仕 表6.7.1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
⊙図示による
スタッドの高さが 5.0m を超える場合
・図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 [6.7.4]
※改修標仕6.7.4(5)による　⊙図示による

⑰　接着剤等
接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6.8.2]
※Ｆ☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合のゴム床タイル用接着剤の主成分による区分 [6.8.2][表6.8.2]
・図示による　・
下地の施工 [6.8.3]
改修標仕6.8.3(1)(ｱ)から(ｳ)以外の下地の工法
・図示による　・

18　ビニル床シート張り　Ⓖ
材料 [6.8.2]

種　類	JIS の記号	色　柄	厚さ(mm)
※ 発泡層のないもの	※ ＦＳ　・	※ 無地　・ マーブル柄	※ 2.0　・
・ 発泡層のあるもの		※ 柄物　・ 無地	
・			

接合部の処理　※ 熱溶接工法　・ 突付け　・ [6.8.3]

19　ビニル床タイル張り　Ⓖ [6.8.2]

種　類	JIS の記号	厚さ(mm)	備　考
※ コンポジションビニル床タイル（半硬質）	ＫＴ	※ 2.0	
・ コンポジションビニル床タイル（軟質）	ＫＴ	・ 3.0	
・ ホモジニアスビニル床タイル	ＴＴ、ＦＴ	・	

20　特殊機能床　Ⓖ
材料 [6.8.2]

シート・タイルの種別	種類	性能	厚さ、寸法、形状(mm)
・ 帯電防止床シート			厚さ：
・ 帯電防止床タイル			寸法：　厚さ：
・ 視覚障害者用床タイル			形状：
・ 耐動荷重性床シート			厚さ：
・ 防滑性床シート			厚さ：
・ 防滑性床タイル			寸法：　厚さ：

21　ビニル幅木
材質の種類　※ 軟質　・ 硬質
高さ(mm)　※ 60　・ 70　・ 100　・ 75
厚さ(mm)　※ 1.5以上　・

22　カーペット敷き
・ 織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

織り方	パイル形状	帯電性	備　考
・ ウィルトンカーペット	・ カットパイル	・適用する	
・ ダブルフェースカーペット	・ ループパイル	・適用しない	
・ アキスミンスターカーペット	・ カット、ループパイル併用		

色柄、パイル糸の種類等
※　無地（種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種）
・　柄物（標準品）
・
下敷き材　※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・
見切り、押え金物
・適用する（材質、形状等　・図示　・　）
・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※シートボンド工法　・

東御市	社会資本整備総合交付金事業 JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
		SCALE A1 —	PART 建築意匠
	SHEET NAME 改修工事特記仕様書（4）	SCALE A3 —	SEET NO. B－05

⑥ 内装改修工事

・タフテッドカーペット [6.9.2～3][表 6.9.2]

パイル形状	パイル長(mm)	工　法	帯電性	備考
・カットパイル	※ 5～7　・	※ 全面接着工法	・適用する	
・ループパイル	※ 4～6　・	・グリッパー工法	・適用しない	
・カット、ループ併用	・			

下敷き材　（グリッパー工法の場合）
※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm
・

見切り、押え金物
・適用する（材質、形状等　・図示　・　）
・適用しない

・タイルカーペット [6.9.2～3][表 6.9.2]

種類	パイル形状	寸法	総厚さ(mm)	施工箇所	備考
※ 第一種 ・第二種	※ ループパイル	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・		
・第一種 ・第二種	・カットパイル	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・		
・第一種 ・第二種	・カット、ループ併用	※ 500×500 ・	※ 6.5 ・		

見切り、押え金物
・適用する（材質、形状等　・図示　・　）
・適用しない

タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段　・市松敷き　※模様流し　・

23　合成樹脂塗床

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆

種類 [6.10.3][表 6.10.4～8]

種　類	工　法	仕上げの種類	施工箇所
・厚膜型塗床材 （弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材）		※ 平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	
・厚膜型塗床材 （ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材）	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	
・薄膜型塗床材 （ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材）		※ 平滑仕上げ	
・			

24　防塵用塗料塗り

材料　水性アクリル系塗料　（※標準色　・　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りのうえ主剤２回塗りとし、総塗布量は 0.5 kg/m^2以上とする

25　フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量
※改修標仕 6.11.2(2)による　・

単層フローリング G [6.11.2～7][表 6.11.1～5]

種　類	工　法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等	・釘留め(根太張り)	・	※ 改修標仕 表6.11.1による ・
	・釘留め（直張り）	・	※ 改修標仕 表6.11.3による ・
	※ 接着工法	・	※ 改修標仕 表6.11.5による ・
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ1等	※ 接着工法	・	・

複合フローリング G　・ [6.11.2～7][表 6.11.1～5]

種　類	工　法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ （天然木化粧）	・釘留め(根太張り)	・	※ 改修標仕 表6.11.2による ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
	・釘留め（直張り）	・	※ 改修標仕 表6.11.4による ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
	※ 接着工法	・	※ 改修標仕 表6.11.6による ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

接着工法の場合の不陸緩衝材
※合成樹脂発泡シート　・

26　畳敷き

種別 [6.12.2]
・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
・Ｄ種（畳床　・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
・樹脂畳
・衝撃緩和型畳
畳表（JIS A 5902）　・Ｃ１　・Ｃ２

㉗　せっこうボード、その他ボード及び合板張り

材料 [6.13.2][表 6.13.1]

規格名称	種　類	厚さ(mm)等
木質系ｾﾒﾝﾄ板	・硬質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
	・中質木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
	・普通木毛セメント板　G	・15　・20　・25　・
	・硬質木片セメント板　G	・12　・15　・18　・21　・
	・普通木片セメント板　G	・30　・
繊維強化ｾﾒﾝﾄ板	(・) けい酸カルシウム板	タイプ２(無石綿)　(・)6　・8
火山性ｶﾞﾗｽ質複層板(VSﾎﾞｰﾄﾞ)	・火山性ｶﾞﾗｽ質複層板	
繊維板	・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（ＭＤＦ）	・3　・7　・9　・12　・
	・ハードボード（素地）G	・無研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） ・研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） ・2.5　・3.5　・5　・7　・
	・ハードボード（化粧）G	・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7　・
	・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ G	・Ａ級（・天井仕上　・内装仕上　・） ・9　・12　・15　・18　・
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ　G	・無研磨板　・研磨版 ・10　・12　・15　・18　・
	・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ　G	・単板オーバーレイ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・塗装　・10　・12
吸音材料	・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR）	・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※ 9〈不燃〉・12　・　） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※ 9〈不燃〉・12　・　）
	・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音ﾎﾞｰﾄﾞ 1号	・25　・
	・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ 32K	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包）　・
石膏ﾎﾞｰﾄﾞ製品	・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※ 12.5〈不燃〉　・9.5〈準不燃〉
	・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様） ・9.5〈不燃〉　・
	(・)ｿｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	※ 12.5〈不燃〉　(・)9.5〈準不燃〉
	・普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R-H）	※ 12.5〈不燃〉　・15〈不燃〉
	・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ	・9.5　・
	・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(木目)	模様（※ 柾目　・板目）専用下地材付き
	・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ)	・9.5〈準不燃〉
	・吸音用あなあきせっこうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-P)	・9.5〈準不燃〉

ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2]
※Ｆ☆☆☆☆　・
ボード表面への化粧張仕上げの有無
・有り（種類：　）　・

天井ボードの重ね張りの張り付け方法 [6.13.3]
（ロックウール吸音板を除く）
（　）
せっこうボードの目地工法 [6.13.3]
種類
・図示（仕上げ表）による　(・) 継目処理工法
せっこうボードのエッジの種類（突付け工法、目透し工法の場合）
・図示による　・

材料 [6.13.2]

種　類	規　格	防虫処理
・普通合板　G	表面の樹種名（　） 板面の品質（　） 厚さ(mm)（　）	・行う ・行わない
・天然木化粧合板　G	化粧板の樹種名（　） 厚さ(mm)（　）	・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　） 表面性能（　） 厚さ(mm)（　）	・行う ・行わない

合板のホルムアルデヒド放散量 [6.13.2]
※改修標仕 6.13.2(2)(ｲ)のいずれかによる
・

合板の張付け　・Ａ種　・Ｂ種 [6.13.3][表6.13.3]

28　壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　※Ｆ☆☆☆☆　・

種類 [6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類：紙	繊維(織物)	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	塩化ﾋﾞﾆﾙ	その他	防火性能	備　考
図示	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

施工 [6.14.3]
モルタル面及びプラスター面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ [表 7.2.4]
※Ｂ種　・Ａ種
コンクリート面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ [表 7.2.5]
※Ｂ種　・Ａ種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ及びけい酸ｶﾙｼｳﾑ板面の吸込止めの塗布等の素地ごしらえ
※Ｂ種　・Ａ種 [表 7.2.7]

29　モルタル塗り

モルタル　・現場調合材料　・既調合材料 [6.15.3]
既設目地材　・設ける　施工箇所（　）[6.15.3]
形状（・図示　・　）
・設けない
床の目地　・設ける　目地割　※ 2㎡程度（最大目地間隔 3m程度）[6.15.6]
・
種類　※ 押し目地　・
・設けない

外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 [6.15.6]
・行う　・行わない

㉚　タイル張り

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [6.16.2]
位置　（※ 改修標仕 6.16.2による　・図示による ）
見本焼及び試験施工 [6.16.2]
見本焼　・行う　※ 行わない
試験張り　・行う　※ 行わない

セメントモルタルによるタイル張り [6.16.3]
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率区分：Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	釉薬：施釉	無釉	役物：有	無	色：標準	特注	再生材適用 G	耐凍害性：有	無	耐滑性	備考
床		100□	(・)	・	・	(・)	(・)	・	(・)	・	(・)	・	(・)	・	(・)	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

既調合モルタル
・既調合もモルタルの製造所の仕様による
・
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法
・高圧水洗による目荒し工法（改修標仕 4.3.10(3)(ｲ) による）

壁タイル張りの工法
内外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

有機系接着剤によるタイル張り [6.16.4]
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	吸水率区分：Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	釉薬：施釉	無釉	役物：有	無	色：標準	特注	再生材適用 G	耐凍害性：有	無	耐滑性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ Ｆ☆☆☆☆　・
外装タイルにおける目地詰め　・行う　・行わない
目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ ポリウレタンシーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ ポリウレタンシーリング材　・
伸縮調整目地　※ 変性シリコーンシーリング材　・
その他の目地　※ 変性シリコーンシーリング材　・

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理方法
・高圧水洗による目荒し工法（改修標仕 4.3.10(3)(ｲ) による）

31　セルフレベリング材塗り

種類　・せっこう系　・セメント系 [6.17.2][表 6.17.1]
塗厚　・　mm

㉜　断熱材 (19.9.3)

断熱材名	種類（記号）	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ ・	・ ・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	※ A種2種ｂ ※ A種3種ｂ (・)A種1種ｂｃ	・ ・ (・) 25	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・ ・	・ ・	
・フェノールフォーム断熱材	※ A種1種 ・	・ ・	

フェノールフォームを使用した断熱材及び接着剤のフォルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・

・断熱材現場発泡工法 (19.9.4)
断熱材の種類　・Ａ種Ⅰ　・Ａ種1H
吹付け厚さ(mm)　・25　・30　・50
施工箇所　・図示による　・

33　浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅(mm)	備　考
※ アルミニウム製	※ 焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※ 200 ・100	回り縁は縁付きとし製造所の標準品とする。

34　フリーアクセスフロア

材料等 (20.2.2)

施工箇所	構造	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備　考
	・支柱調整式 ・置敷式	・	・	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3,000N ・ 5,000N	・ 帯電防止床ﾀｲﾙ ・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

帯電防止性能　・Ｕ値（クラス1）　・Ｕ値（クラス2）
漏洩抵抗　・R≧1×10Ω6　・
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法
※ 標仕20.2.2(2)(ｲ)による　・
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の寸法精度
※ 標仕20.2.2(2)(ｵ)による　・

35　可動間仕切

材料等 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類：ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ	ﾊﾟﾈﾙ表面の仕上げ	遮音性能(dB/500Hz)
・ｽﾀｯﾄﾞ式（内蔵） ・ｽﾀｯﾄﾞ式（露出） ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式 ・ﾊﾟﾈﾙ式			※ メラミン樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36

パネル内に取付ける建具
・ あり（寸法及び形状　・図示　・　）
・ なし
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆　・

36　移動間仕切

材料等 (20.2.4)

操作方法による種類	圧縮装置の操作方法	ﾊﾟﾈﾙの表面材：材質	仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式	※ 鋼板	※ 焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上

ハンガーレールの取付け下地の補強
※ 標仕 20.2.4(3)(ｳ)による　・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ 標仕 20.2.4(3)(ｴ)による　・図示による
ハンガーレール
※ 標仕 20.2.4(3)(ｵ)による　・図示による
ランナー
※ 標仕 20.2.4(3)(ｶ)による　・図示による
あと施工アンカー
・ 使用する
種類：　材質：　寸法：
・ 使用しない

㊲　トイレブース

材料等 (20.2.5)

パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質
(・) ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板 ・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ (・) 足金物タイプ	(・) アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

38　手すり

材料等 (20.2.6)

種　別	表面仕上げ	直径(mm)	施工箇所	備考
※ 集成材	・ｸﾘﾔﾗｯｶｰ　・	※35　・45		(市販品)
・ステンレス	・HL　・			
・鋼製	・EP-G　・SOP			
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ				

39　階段滑止め

材料等 (20.2.7)

材　種	形状	寸法(mm)	取付工法
・ステンレス製（SUS304） ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材	・ひも型 ・タイヤ型	・ ・	※ 接着工法 ・埋込み工法

40　黒板及びホワイトボード (20.2.9)

種　類		寸法(mm)	色　彩	備　考
・黒板	※ 焼付け ・ほうろう		※ 緑　・黒	※ 平面　・曲面 ・ｽｸﾘｰﾝ付引分
・ホワイトボード			※ 白	

㊶　表示 (20.2.11)

・衝突防止表示
形状、寸法（・ 30φ　・　）
材質　（・ ステンレス製　・　）
・非常用進入口等の表示等
※消防法に適合する市販品　・

室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状寸法材質色、書体、印刷等の種別、取付け形式
(・)図示による　・

42　ブラインド

材料等 (20.2.14)
・横形ブラインド
種類　※ギア式　・コード式　・操作棒式
幅、高さ　・図示による　・
スラットの幅　※25mm　・
材質
スラット　※アルミニウム合金製　・
ヘッドボックス　※鋼製　・
ボトムレール　※鋼製　・
縦形ブラインド
幅、高さ　・図示による　・
開閉方式　・片引き　・両備開き
操作方法　※2本操作コード方式　・1本操作コード方式
スラットの材質　・焼付け塗装仕上げのアルミスラット
・消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット
スラットの幅　（　）mm

43　ロールスクリーン

材料等 (20.2.15)

材種	品質	遮光性能	操作方式	幅、高さ	取付箇所
・ポリエステル ・	・	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 図示 ・	・ 図示 ・

44　カーテン

・ 既存再使用する（養生方法：　）[2.3.1][5.1.6]
・ 新設する（ ※ 防炎加工品　・　）(20.2.14)

材料等

形式		開閉操作方式	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ（三つ山ひだ、二つ山ひだ） ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	※ 防炎加工 ・ ・		

東御市

社会資本整備総合交付金事業	DATE	JOB NO.	２６４９
JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	SCALE A1 —	PART	建築意匠
SHEET NAME 改修工事特記仕様書（５）	SCALE A3 —	SEET NO.	B－06

⑥ 内装改修工事

45 カーテンレール

既存利用
・ 既存再使用する　　・ 新設する

材料等　(20.2.16)
レール及びブランケットの強さによる区分
※ 10-90　・
レールの材料による区分
※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ ステンレス製
レールの仕上げ　※アルマイト　・
レールの形状　※角形　・
カーテンの付属物　フック（ひるかん）　※鋼製　・樹脂製

46 ブラインドボックス及びカーテンボックス

既存利用
・ 既存再使用する　　・ 新設する

溝幅×深さ（mm）　・ 90×150　・ 120×80　※ 120×150　・ 150×80　・ 図示による
材質　・ 集成材（仕上げ： OSCL　）
・ アルミニウム製　押出し製（市販品）
種別（標仕 表14.2.1）　・BC-1種　BC-2種
色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）
・ 鋼製（仕上げ： UCL　）

47 天井点検口

材　種	寸　法	形　式		外　枠	内　枠
・ アルミニウム製	・450×450	・一般型	・屋内外用	・額縁タイプ	・額縁枠タイプ
・	・600×600		・屋内用	・目地タイプ	・目地タイプ
		・			

㊽ 床点検口

材　種	寸　法	形　式		備　考
・ アルミニウム製	・450×450	⊙一般型	⊙屋内外用	・鍵付き
⊙ステンレス製	⊙600×600	・密閉型	・屋内用	
		・		

49 屋内掲示板

枠の材質　※ アルミニウム製
表面の材質　※ 塩ビ発泡シート張り　・

50 洗面カウンター

材　種　・ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・ 人工大理石
奥行き(mm)　・ 約 450　・ 約 600

51 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※ 網入り磨板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製枠付き
・ 線入り磨板ガラス	・	・	

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式（巻取り型）	※ 不燃布（不燃認定品）	※ 500 ・ 800 ・	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・ 可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り　・

52 収納家具

降下機構　煙感知器連動及び主導開放装置（埋込型）
材質形状、寸法　※ 図示による　・
合板類、集成材、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・

53 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンは JIS T 9251 による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※ 塩化ビニル製　・ 磁器又はせっ器質タイル（※ 300　・　　）
・ レジンコンクリート製
屋　外　※ レジンコンクリート製　・ 磁器又はせっ器質タイル（※ 300　・　　）

⑦ 塗装改修工事

① 材料

屋内で使用するホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　・

② 下地調整

種別　[7.2.2～7.2.7][表 7.2.1～7.2.7]

下地面の種類	下地調整の種別	備　考
木部	・ RA種　※ RB種	
鉄鋼面	・ RA種　※ RB種	
亜鉛めっき鋼面	・ RA種　※ RB種	
ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面	・ RA種　※ RB種	
ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP以外）、ALCﾊﾟﾈﾙ面	・ RA種　※ RB種	
ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP）	・ RA種　・ RB種	
押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・ RC種	
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他のﾎﾞｰﾄﾞ面	・ RA種　※ RB種	

③ 素地ごしらえ

種別　[7.3.2～7.3.7][表 7.3.1～7.3.7]

下地面等		種　別
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種　・ B種
	透明塗りの場合	・ A種　※ B種
鉄鋼面	耐候性塗料塗り(DP)の場合	・ A種　※ B種　・ C種
	上記以外の場合	・ A種　・ B種　※ C種
亜鉛めっき鋼面		・ A種　・ B種
ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面		・ A種　※ B種
ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP以外）、ALCﾊﾟﾈﾙ面		・ A種　※ B種
ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP）		※ A種　・ B種
押出成形ｾﾒﾝﾄ板面		・ A種　※ B種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他のﾎﾞｰﾄﾞ面	目地：継目処理工法	※ A種　・ B種
	目地：継目処理工法以外	・ A種　※ B種

4 錆止め塗料塗り

種別　[7.4.2～7.4.3][表7.4.1～7.4.6]

下地面等			錆止め塗料の種別		工程の種別	
			新規	塗替え	新規	塗替え
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	A種		※ A種　・ B種	C種
		DP	1回目　C種 2,3回目 D種	・ RAの場合 1回目　C種 2,3回目 D種 ・ RBの場合 E種	※ A種　・ B種	・ A種 ・ B種 ・ C種
		EP-G	・ A種　※ B種		※ A種　・ B種	C種
	見え隠れ部分	SOP	A種		・ A種　※ B種	C種
		DP	1回目　C種 2,3回目　D種		※ A種　・ B種	・ A種 ・ B種 ・ C種
		EP-G	・ A種　※ B種		・ A種　※ B種	C種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※ A種　・ B種		※ A種　・ B種	C種
		DP	B種		改修標仕 表7.4.6	
		EP-G	C種		※ A種　・ B種	C種
	鋼製建具以外	SOP	・ A種　※ B種		・ A種　※ B種	C種
		DP	B種		改修標仕 表7.4.6	
		SOP	C種		・ A種　※ B種	C種

⑤ 塗装塗り

種別　[7.5.2～7.13.2][表7.5.1～7.13.1]

塗装の種類	塗装面	工程 新規	工程 塗替え
⊙合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP）	・木部（屋外）	※A種　・	※B種　・
	・木部（屋内）	※B種　・	※B種　・
	⊙鉄鋼面	・A種　・B種	※B種　・
	・亜鉛めっき鋼面	※B種　・	※B種　・
	・鋼製建具	※B種　・	※A種　・
・ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り（CL）	・木部	・A種 ※B種	・A種 ※B種
・ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料（NAD）	・屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面	※B種	※B種 ・
・耐候性塗料塗り（DP）	・鉄鋼面 上塗り ・1級(ふっ素樹脂) ・2級(ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂) ・3級(ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂)	※A種	・A種 ・B種 ・C種
	・亜鉛めっき鋼面 上塗り ・1級(ふっ素樹脂) ・2級(ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂) ・3級(ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂)	※A種	・A種 ・B種 ・C種
	・ｺﾝｸﾘｰﾄ面	・A種 ・B種 ・C種	・A-1種　・A-2種 ・B-1種　・B-2種 ・C-1種　・C-2種
	・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種 ・B種 ・C種	・A-1種　・A-2種 ・B-1種　・B-2種 ・C-1種　・C-2種
・つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP－G）	・ｺﾝｸﾘｰﾄ面	・A種 ※B種	・B種　・C種
	・ﾓﾙﾀﾙ面	・A種 ※B種	・B種　・C種
	・ﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・A種 ※B種	・B種　・C種
	・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面	・A種 ※B種	・B種　・C種
	・屋内木部	※A種　・	・A種　※B種
	・屋内鉄鋼面	※A種　・B種	・A種　※B種
	・屋内亜鉛めっき鋼面	※A種　・B種	※A種　・B種
⊙合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP）	・ｺﾝｸﾘｰﾄ面	・A種　・B種	・A種　※B種
	・ﾓﾙﾀﾙ面	・A種　・B種	・A種　※B種
	・ﾌﾟﾗｽﾀｰ面	・A種　・B種	・A種　※B種
	⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面	・A種　・B種	・A種　※B種
・ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り(UC)		・A種 ※B種	・A種　※B種
・ﾋﾞｸﾞﾏﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り		—	—
⊙ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り（OS）		—	—
⊙木材保護塗料塗り（WP）	屋外	・A種 ※B種	・A種 ※B種

塗料の種類等
クリヤラッカー塗り（CL）　[表7.6.1]
種別がA種の場合における、改修標仕 表 7.6.1 の工程2
・塗料の種類（　　）
ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）
種別がA種の場合における、改修標仕 表 7.11.1 の工程1の着色　・適用する
オイルステイン塗り（OS）の仕様　[表7.11.1]
・図示による　・

8 耐震改修工事等

特記仕様書(7)参照

9 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の除去後の仕上げ

石綿含有建材の除去後の仕上げ　※外壁改修工事参照　[9.1.1]

2 石綿粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定　[9.1.1]
・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	備　考
・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	各 1 点	—
・ 測定 2		施工区画周辺又は敷地境界	計　点	—
・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内	各 1 点	—
※ 測定 4		ｾｷｭﾘﾃｨｰﾌﾞｰﾝ入口	各 1 点	空気の流れを確認
※ 測定 5		負圧･除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各 1 点	除じん装置の性能確認
・ 測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	計 4 点	4方向各1点
※ 測定 7	処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前）	処理作業室内	各 1 点	—
・ 測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	計 4 点	4方向各1点
・ 測定 9	処理作業後シート	処理作業室内	各 1 点	—
・ 測定 10	撤去後 1 週間以降	調査対象室外部の付近	計 1 点	—

測定箇所　※ 図示

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第 1 部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差顕微鏡		
ﾒﾝﾌﾞﾚﾝﾌｨﾙﾀの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトン－トリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）
ア、測定結果
イ、測定時間
ウ、測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
エ、サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ、マウンティング方法
カ、顕微鏡視野面積、計数視野数
キ、測定時（各測定場所ごと）天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

3 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の除去（レベル1）

アスベスト含有吹付け材の除去　[9.1.3]
・ 行う　除去方法は 9.1.3 によるほか、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。
除去物及び汚染物質等
処理方法
※ 密封処理（二重袋梱包）
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。
・ セメント固化
アスベスト含有吹付け材の処分
・埋立処分
・溶融施設
・無害化処理施設

4 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の除去（レベル 2）

アスベスト含有保温材の除去　[9.1.4]
・ 行う（※ 手ばらし　・ 手ばらし以外）
作用場の隔離
・ 行う　・行わない
アスベスト含有保温材等の処分
・埋立処分
・溶融施設
・無害化処理施設

5 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板の除去（レベル 3）

アスベスト含有成形板の除去　[9.1.5]
・ 行う
隔離養生（負圧不要）
・ 行う ※1　・ 行わない
注1：けい酸カルシウム板第一種の場合は必須

アスベスト含有成形板の処分
・埋立処分
・溶融施設
・無害化処理施設

6 ｱｽﾍﾞｽﾄ含有仕上塗材の除去（モルタル）

除去方法　[9.1.6]
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）
・ 湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法
※ 乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法
・ 剥離剤工法
・ 超音波ケレン工法
隔離養生（負圧不要）
・ 行う　・ 行わない
アスベスト含有仕上塗材の処分
・埋立処分
・溶融施設
・無害化処理施設

7 作業結果の確認・報告

石綿含有建材の除去等作業完了後は、適切に作業が行われたこと及び取り残しがないことを確認すること。
また、確認した結果を発注者に書面で報告すること。

8 外断熱改修工事

断熱材の種類　[9.2.2]

材　料　名	厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム（ノンフロン G ）	
・押出法ポリスチレンフォームA種（ノンフロン G ）	
・硬質ウレタンフォーム（ノンフロン G ）　・フェノールフォーム	
・ロックウール　・グラスウール	

外装材の種類　[9.2.2]

・	防火性能	

既存外壁の仕上材の撤去　・有り　・なし　[9.2.3]
下地面の清掃及び下地調整　※断熱材製造所の指定する仕様
・
欠損分の改修　・行う　・行わない
通気層　・有り（　　mm ）　・なし　[9.2.4]
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※適用する　・適用しない
試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける
特記無き事項は、製造所の仕様による。

9 断熱・防露改修工事

断熱材（ノンフロン）　[9.3.2～9.3.4]

工　法	材　料　名	種別及び品質	厚さ(mm)
・断熱材打込み工法 JIS A 9521 建築用断熱材	・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ ・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ（ｽｷﾝ層なし） ・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ ・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ ・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ		
・断熱材現場発泡工法	建築物断熱用吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ（難燃性）	・A種1　・A種1H ・A種2　・A種2H ・A種3 ・B種	
・断熱材後張り工法 JIS A 9521 建築用断熱材	・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ ・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ（ｽｷﾝ層なし） ・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ ・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ ・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ		

10 屋上緑化改修工事 G

植栽基盤及び材料　[9.4.2]
※ 屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示
見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※図示

11 透水性アスファルト舗装改修工事 G

路盤材料　[9.5.4][表9.5.3]
※再生クラッシャラン（RC－40）G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ（CS－40）G
・クラッシャラン（C－40）G
透水性の高いものを使用する
路盤の締固め度試験　※行う　[9.5.4]
遮断層、凍上抑制層及びフィルター層の材料（厚さは図示）　[9.5.4][表9.5.1]
・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン G ・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
・フィルター層　※ごみ、泥等の有機物を含まない砂　・
盛土に用いる材料　[9.5.3][表8.28.1]
・A種　※B種　・C種　・D種
路床安定処理　[9.5.3][表9.5.2]
※添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種 G
・高炉セメントB種 G
・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　kg/m3 （目標CBR　※5以上　・　　）
路床土の支持力比試験　※行う（※乱した土　・乱さない土）
路床締固め度の試験　※行う
砂の粒度試験　※行う　[9.5.3]
開粒度アスファルト混合物　[9.5.7][表9.5.5][表9.5.6]
歩道部　※ストレートアスファルト
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　※行わない　・行う　[9.5.9]

12 PCB含有シーリング材処分

・第一次判定
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する
採取箇所数　計　箇所
採取箇所　※図示　・
・第二次判定
専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う
分析個数　計　箇所
・除去処理工事
除去範囲　※図示
撤去方法　・「標準施工要領書（日本シーリング工事業共同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による

東御市	社会資本整備総合交付金事業	DATE	JOB NO. 2649
	JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	SCALE A1 —	PART 建築意匠
	SHEET NAME 改修工事特記仕様書（6）	SCALE A3 —	SEET NO. B－07

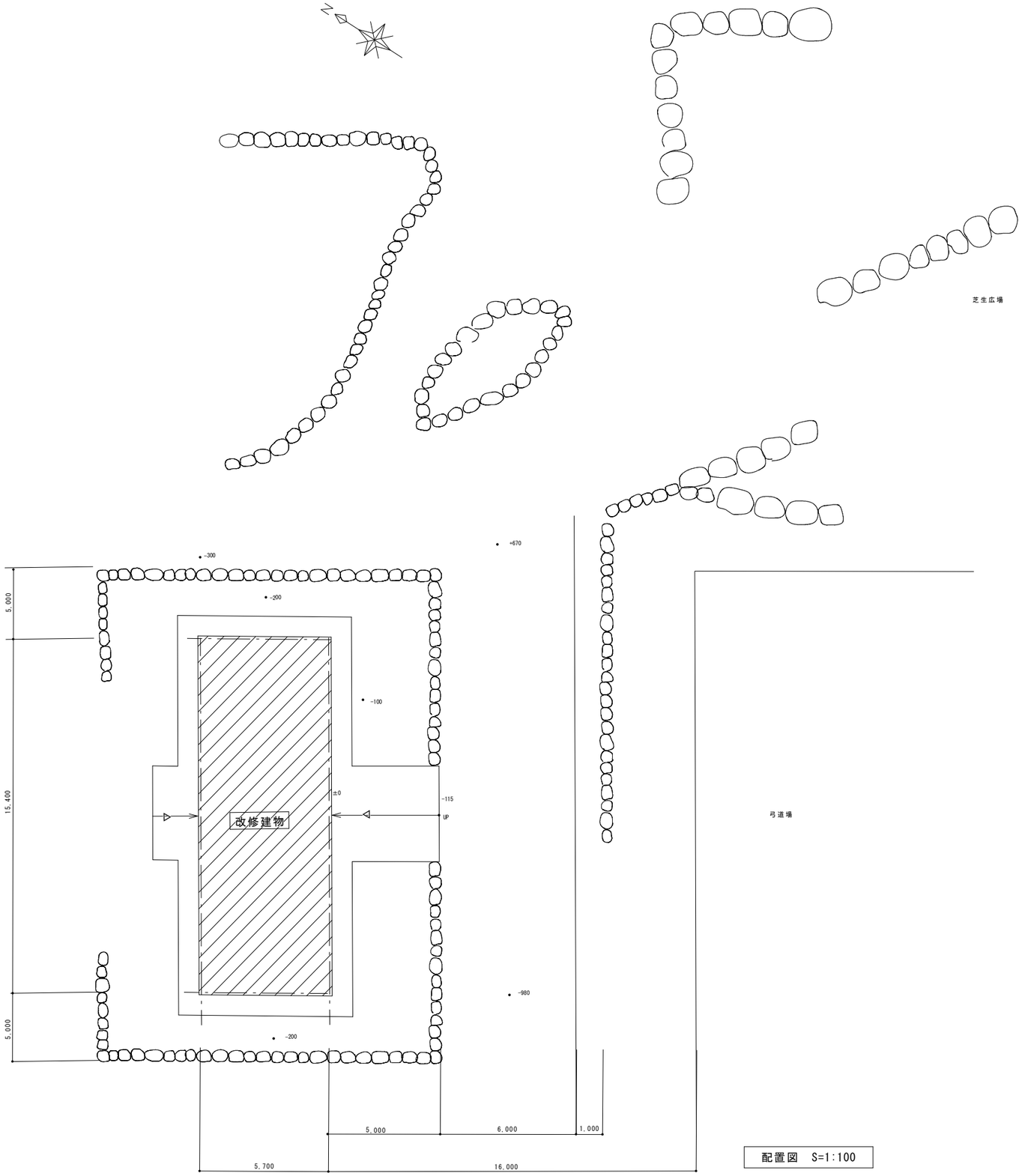
1. ●印を適用し、無印は適用しない。
2. 結線は機器取付けを含む工種の工事とする。
3. 特記無き限り、配線工事は配管共とする。

工事区分		本工事 建築工事・外構	本工事 機械設備工事	本工事 電気設備工事	別途工事	備考
一般事項・仮設	水道、下水、ガスの引渡しまでの基本料金、使用料金	●	●	●		
	電気の引渡しまでの基本料金、使用料金	●	●	●		
	工事上の各種申請、届出費用	●	●	●		
	監理者・施工者の現場事務所、備品	●	●	●		
	仮設揚重機、内外足場	●				
	躯体・仕上養生	●				
	各種検査試験費	●	●	●		
	土壌調査				●	
	近隣家屋調査	●				
	道路の養生・清掃等	●	●	●		
インフラ引込・接続	水道本管からの接続工事		●			
	下水本管への接続工事		●			
	電力引き込み工事			●		
	ＣＡＴＶ契約			●		
	ＣＡＴＶ引き込み工事			●		
	都市ガス引き込み工事		●			
	各インフラ引き込みに伴う道路仮復旧及び本復旧	●	●	●		
躯体貫通	Ｓ造の梁貫通スリーブ	●				
	同上貫通補強	●				
	ＲＣ造の梁貫通スリーブ	●	●	●		
	同上貫通補強	●				
	壁、床の貫通スリーブ、箱入れ	●	●	●		
	同上貫通補強	●				
	貫通スリーブ、箱抜きの穴埋め	●	●	●		
躯体以外の貫通・加工	下地の補強を要する天井、壁の切り込み、穴開け	●				
	下地の補強を要しない天井、壁の切り込み、穴開け	●	●	●		
	ＡＬＣ板、石等の設備取付け用穴開け、補強	●				
	同上取付け枠	●	●	●		
	コンクリートブロック、レンガ等の設備取付け用補強	●				
	同上穴開け、取付け枠	●	●			
	開口補強	●				
	外壁貫通部のダクト配線配管廻りシール	●	●	●		
設備基礎	ＲＣ製設備基礎、重量物鋼製基礎架台及び躯体取合い部シーリング	●				
	同上基礎及び架台と機器の間の補助鋼材、転倒防止支持材		●	●		
	同上アンカーボルト、箱入れ、埋込み		●	●		
	同上躯体取り合い部シーリング		●	●		
	機器振動対策		●	●		
	屋上・配管、ラックの支持架台		●	●		
	同上架台と機器の間の補助鋼材		●	●		
機器制御	機器付属制御盤への電源供給配管、配線			●		本項目の機器付属制御盤とは、空調又は衛生工事の機器に付属する制御盤を示す。
	機器付属制御盤と動力制御盤間のｲﾝﾀｰﾛｯｸ用配管、配線			●		
	機器付属制御盤以降の機器との渡り配管、配線（接地共）		●			

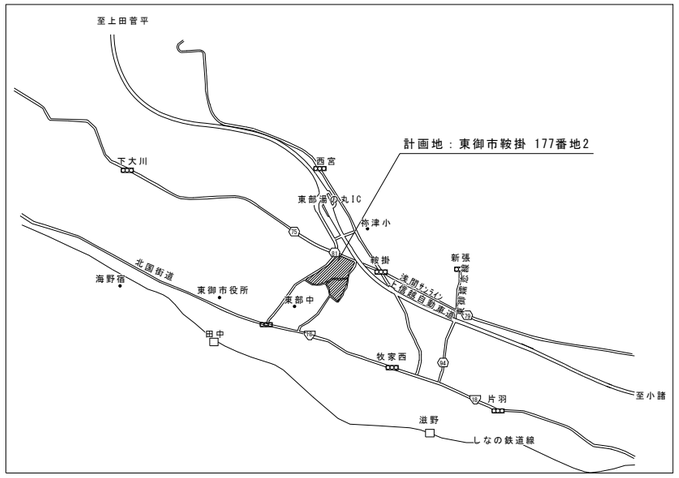
工事区分		本工事 建築工事・外構	本工事 機械設備工事	本工事 電気設備工事	別途工事	備考
空気調和・換気設備	室外機、室内機への電源送り			●		
	屋内機へ屋外機より電源分岐する機種の渡り配線		●			
	パッケージ型空気調和機・全熱交換換気扇のリモコンスイッチ及び機器間の渡り配線		●			
	同上用配管及びリモコンスイッチ用裏ボックス		●			
	ダクト用換気扇及び天井扇のスイッチ及び制御配管配線			●		24時間換気スイッチ含む
	24時間換気の為の注意表示		●			
	外気ガラリのダクト接続用フランジ出し	●				
	ガラリに取り付くチャンバーボックス		●			
	床下空調吹出口					
水廻り・便所	小便器、大便器、洗面器等の衛生陶器及び給排水金物、接続配管		●			
	温水洗浄便座		●			
	温水洗浄便座コンセント			●		
	トイレブース、隔板	●				
	化粧鏡、姿見鏡		●			
	小便器・大便器・洗面器用手摺		●			
	ペーパーホルダー		●			
	洗面カウンター		●			
	同上用組込洗面器・水石鹸入れ・給排水管接続		●			
	同上用カウンター穴明け	●				
	多目的トイレユニット（付属の手摺等を含む）		●			
	オストメイト対応設備		●			
	ベビーチェア		●			
	流し台、吊戸棚	●	●			水栓、排水トラップ含む
	同上用給排水及び接続配管工事		●			
	同上用接続ダクト		●			
	同上電源接続用コンセント、棚下灯、電源送り			●		
	電気温水機		●			水栓含む
	同上用電源送り			●		
	電気温水器		●			
	電気温水器設置に伴う流し台内の切欠き・穴あけ等	●				
	電気温水器のスイッチ及び制御配線・配管		●			
	電気温水器への電源送り			●		
	冷蔵庫				●	
	洗濯パン及び排水金物		●			
	同上、水栓、給水、排水接続		●			
	ユニットシャワー（US）	●				
	同上用給排水及び接続配管工事		●			
	同上電源接続用コンセント			●		
	同上用ファン及び接続ダクト		●			
ピット	ピット点検用マンホール、点検口、タラップ、釜場	●				
	湧水槽の液面制御用電極（制御回路・配管配線含む）			●		
	同上用制御・警報用電極（制御回路・配管配線含む）			●		
	同上用定水位弁及びボールタップ		●			
管理・運営						
機械警備	機械警備本体および取り付け・調整				●	
	同上用配管			●		
	同上用配線				●	
入退管理	電気錠	●				
	電気錠制御盤、カードリーダー、配線				●	建具内のみ建築工事
	１次側電源の配管配線			●		
	制御盤以降２次側配管				●	建具内のみ建築工事
	インターホン本工事のインターホン設備設置に伴い発生する既存ドアホン、インターホンの器機更新及び改造				●	
電話	電話引込工事				●	配管のみ本工事、NTT工事
	電話交換機・電話機および取り付け・調整			●	●	
	同上用配管			●		
	同上用配線及びモジュラージャック取り付け			●		
	端子盤・MDF			●		
情報	情報引込工事			●	●	配管のみ本工事
	情報機器（ｻｰﾊﾞｰ、ﾙｰﾀｰ、ﾊﾌﾞ、無線ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ、情報ﾗｯｸ等）および取り付け・調整			●		
	同上用配管			●		
	同上用配線及びﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ取り付け			●		
	光ケーブル、光スプライスボックス			●		
防災	ITVカメラ、モニター、録画機器、配線				●	
	同上用電源供給及び配管工事			●		
	消火器		●			
	同上床置台及び壁埋込ボックス	●				

工事区分		本工事 建築工事・外構	本工事 機械設備工事	本工事 電気設備工事	別途工事	備考
ユニット、雑など						
家具・什器・雑	カーテン、ロールスクリーン、ブラインド、暗幕	●				
	上記のボックスおよびレール	●				
	造作家具	●				
	置式家具、什器				●	
	黒板、白板、掲示板	●				
	外壁サイン	●				
	定礎石	●				
	TV				●	
	サイン	●				
外構・植栽	雨水排水工事	●				
	汚水、雑排水工事及び化粧蓋		●			
	同上用化粧蓋仕上		●			
	舗装工事	●	●			
	植栽、客土、土壌改良材、排水層・坪庭	●				
	建物と一体の植栽壁、植栽基盤下の防水層等	●				
	散水栓及びそれへの給水管の接続		●			
	既存樹木の剪定	●				
解体	既存建物の解体	●				
	既存建物などの地下部分のガラ搬出処分	●				
	既存雨水・汚水合流桝の蓋取替え	●	●			
	既存樹木の伐採・伐根					
	歩道切下部分の道路改修					
	既存ブロック塀の改修	●	●			
	外構撤去	●	●			
	アスベスト除去	●				

東御市	社会資本整備総合交付金事業 JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. ２６４９
		SCALE A1 —	PART 建築意匠
	SHEET NAME 工事区分表	SCALE A3 —	SEET NO. B － 08



配置図　S=1:100



敷地案内図

東御市	社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
		SCALE A1 1：100	PART 建築意匠
	配置図・敷地案内図	SCALE A3 1：200	SEET NO. B－09

Save:2025/09/09 08:36:19 Print:2025/09/16 17:16 FN=K.KR74006都市計画係K03 都市計画公園K03社会資本整備総合交付金（公園事業）K★ゆったりトイレ実施

2022.10.01

工事概要

■工事名称	社会資本整備総合交付金事業　東御中央公園トイレ改修工事
■建築主	氏名：　東御市長　花岡　利夫
	住所：　長野県東御市県 281-2
■敷地位置	東御市鞍掛177番地2
■用途地域等	無し
■防火地域等	無し
■建物用途	公衆便所
■構造	鉄筋コンクリート造　一部：木造
■耐火建築物	その他建築物
■階数	地上１階建て
■敷地面積	㎡
■延べ面積	64.98　㎡
■建築面積	87.78　㎡

仕上特記事項

■土間下　・

■断熱材　・天井：グラスウール t100 16kg品
・

■内部間仕切　・内部ボード下地壁出隅部分には塩ビ製25×25コーナー材を取付の上、仕上げとする。
・内部ボードジョイント部分（縦/横）はガラス繊維補強テープ処理とする。（ノンクラエ法）

■内部ふかし壁・LGS 65×45×0.8　鋼製壁下地

■建材　・使用建材は全てＦ☆☆☆☆または、告示対象外製品とする。
・石膏ボードはホルムアルデヒド吸着分解タイプとする。

■壁下地補強　・手摺、衛生器具、ユニット、家具等の取付下地面はt12合板張りにて補強とする。

■造作材　・額縁他造作材：杉材

■塗装　・特記なき塗装は下記の通り。
1）内部：（木部一般）油性ステイン系浸透性木材保護塗料（２回塗）
：（木部床）　油性ステイン系浸透性木材保護塗料（２回塗）
：（既存木部）ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ(ﾜｸ抜き洗い）後、油性ステイン系浸透性木材保護塗料（２回塗）
2）外部：（木部）　油性ステイン系浸透性木材保護塗料（２回塗）
：（既存木部）油性ステイン系浸透性木材保護塗料（２回塗）
3）見掛り既存金属部(金物・唐草・鼻隠し)：SOP

■その他　・仕上品の材種、形状、寸法、色彩等については、見本一覧表を作成の上、施主及び係員の承諾を受けること

仕上材リスト

位　置	部　位	仕 上 材	参考メーカー・品番
内部	ライニング	ライニング・棚	アイカ　ポストフォーム KAA　同等品
内部	床	磁器質タイル 100□	LIXL　ピアッツア　同等品
内部	SK	ステンレス　Jフック	エース　ステンレスJフック　FF-035　同等品

既 既存再利用　撤 既存撤去処分　新 新設および改修　補 補修　アス アスベスト含有建材として適切に処理を行うものとする。

外部仕上表

既存		改修	
犬走り	コンクリート金ゴテ押え　既	犬走り	―
床	磁器質タイル 100□　モルタル金ゴテ下地　既	床	水洗いクリーニング　補
外壁	合板型枠打放しコンクリート　既		
屋根	カラー鉄板 t0.4 大和葺　既		
軒天	小屋裏表し　米松　キシラデコール塗装　既		
樋	軒樋・竪樋：硬質塩化ビニール加工(既製品)		
建具	スチール戸　撤　木製建具　撤　トイレブース　撤	建具	AD　新　トイレブース　新
雪止	アングル　吊子タイプ		

内部仕上表

既存

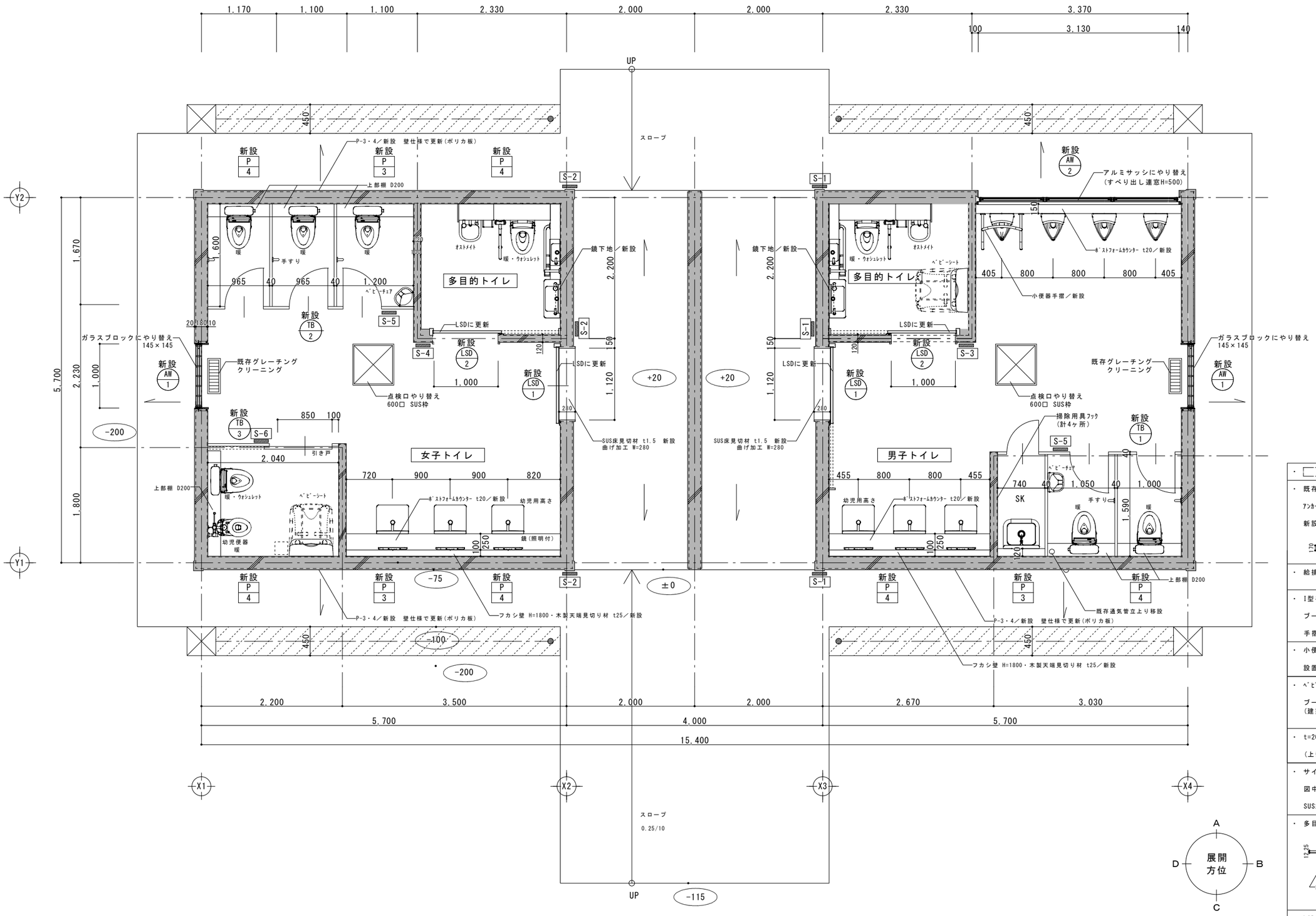
	室名	床 仕上 / 下地	巾木 仕上 / H	壁 仕上 / 下地	天井 仕上 / 下地	廻縁
1階	男子トイレ	磁器質タイル 100□ モルタル金ゴテ　水勾配 土間コンクリート t170　既	―	オーバーレイ合板型枠コンクリート打放し　既 一部：磁器質タイル 100□　撤 モルタル金ゴテ(タイル下地)　撤	野地板表し　既	
	女子トイレ	磁器質タイル 100□ モルタル金ゴテ　水勾配 土間コンクリート t170　既	―	オーバーレイ合板型枠コンクリート打放し　既 一部：磁器質タイル 100□　撤 モルタル金ゴテ(タイル下地)　撤	野地板表し　既	
	多目的トイレ	磁器質タイル 100□ モルタル金ゴテ　水勾配 土間コンクリート t170　既	―	オーバーレイ合板型枠コンクリート打放し　既	野地板表し　既	

改修

室名	床 仕上 / 下地	巾木 仕上 / H	壁 仕上 / 下地	天井 仕上 / 下地	廻縁	備考
男子トイレ	磁器質タイル 100□ モルタル金ゴテ	― 一部：SUS製 H=100	ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：化粧ケイカル板 t6+耐水PBt9.5 一部 ﾗｲﾆﾝｸﾞ：SK部：化粧ケイカル板 t6+硬質PBt12.5　新 下地処理　C-2(ポリマーセメントモルタル) 水洗いの上(デッキブラシ程度)　補	EP + ケイ酸カルシウム板 t6　新	塩ビ製目スカシ　新	棚 ライニング ステンレス　Jフック (4か所)
女子トイレ	磁器質タイル 100□ モルタル金ゴテ	― 一部：SUS製 H=100	ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：化粧ケイカル板 t6+硬質PBt12.5　新 下地処理　C-2(ポリマーセメントモルタル) 水洗いの上(デッキブラシ程度)　補	EP + ケイ酸カルシウム板 t6　新	塩ビ製目スカシ　新	棚 ライニング
多目的トイレ	磁器質タイル 100□ モルタル金ゴテ	―	新 下地処理　C-2(ポリマーセメントモルタル) 水洗いの上(デッキブラシ程度)　補	EP + ケイ酸カルシウム板 t6　新		

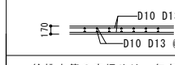
東御市	社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
		SCALE A1 ―	PART 建築意匠
	SHEET NAME 工事概要・仕上表	SCALE A3 ―	SEET NO. B－10

Save: 2025/09/17 11:23:50 Print:2025/09/17.11:24 FN:K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥04社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実
2022.10.01



・ [ ]・・・床仕上：新設範囲

・ 既存和便器部の床開口穴埋めは
アンカー+配筋の上、無収縮モルタル詰め
新設とする(375×725)　6ヶ所



・ 給排水管の穴埋めは、無収縮モルタル詰め
(建築工事)

・ I型手摺(設備工事)の
ブース部分の手摺設置補強は
手摺取付用木芯とする(建築工事)

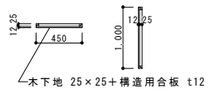
・ 小便器用手摺(設備工事)の
設置補強は t=12合板下地とする

・ ベビーチェアー(設備工事)の
ブース部の設置補強は木芯とする
(建築工事)

・ t=20 ポストフォームライニング:KAA同等品
(上部棚共)

・ サイン新設
図中(S-*)表記　150×150
SUS製・アクリル製

・ 多目的トイレ／鏡下地 新設 (計2ヶ所)



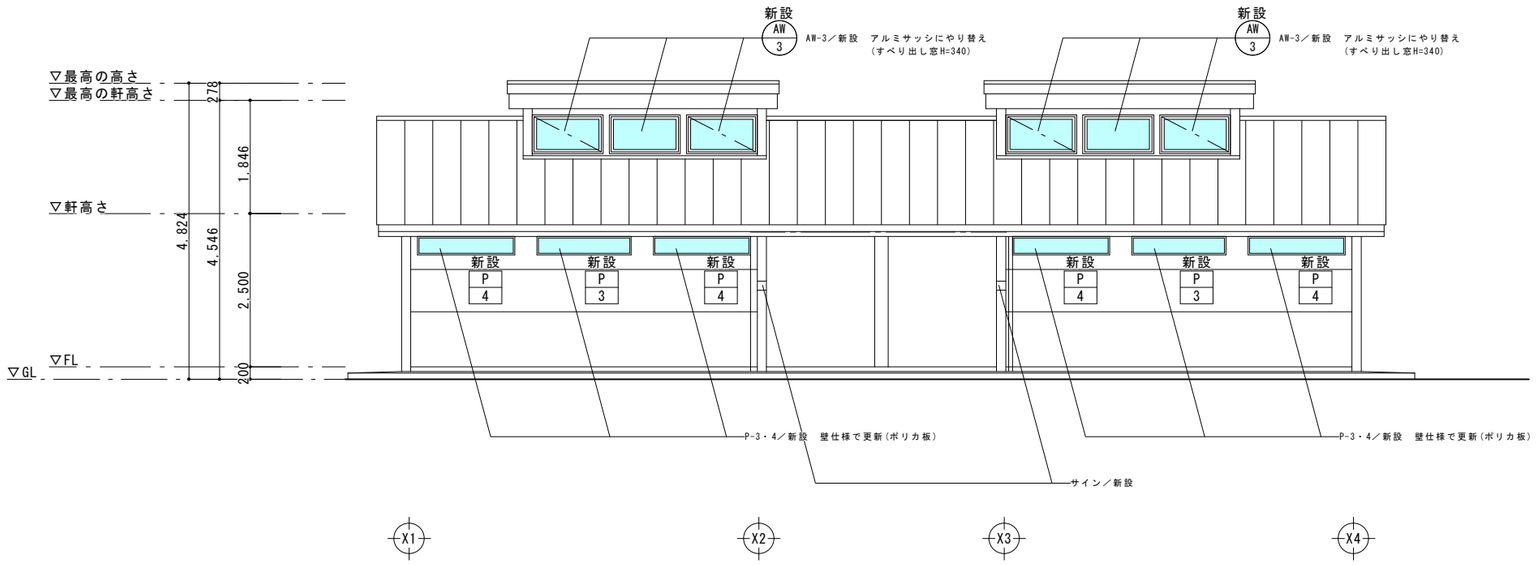
・ LSD及びアルミサッシ改修部は
枠埋めモルタル補修の上建具新設とする。

東御市		社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO.	2649
			SCALE A1 1：30	PART	建築意匠
		改修平面図・キープラン・サインプラン	SCALE A3 1：60	SEET NO.	B－11

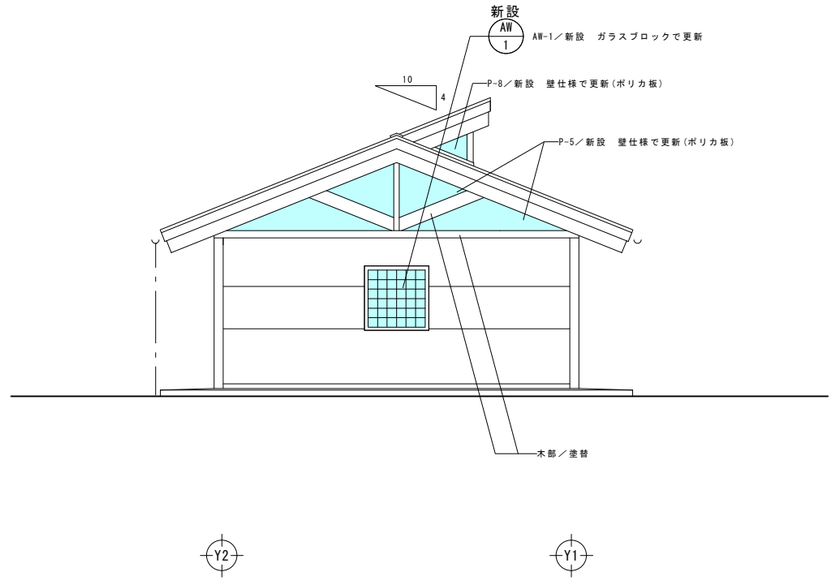
JOB NAME　SHEET NAME

Save: 2025/09/09 08:44:16　Pr int: 2025/09/17 09:37　FN=K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥05社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実

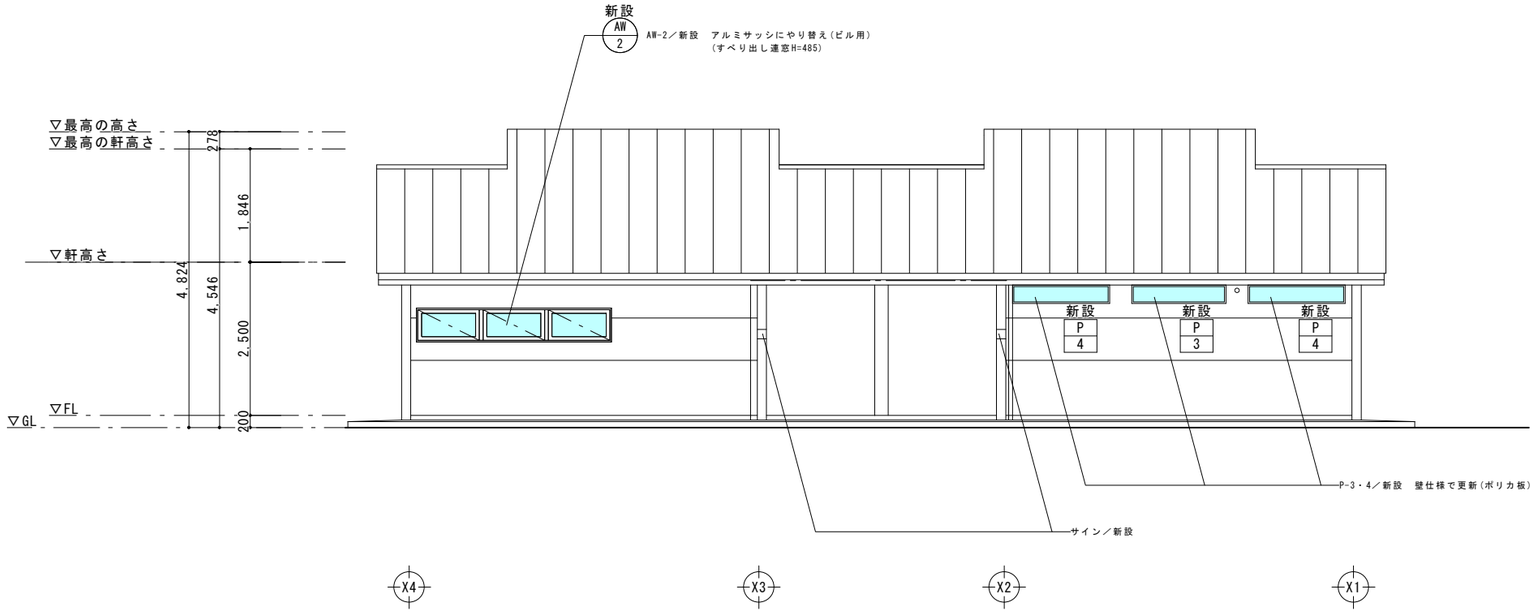
2022.10.01



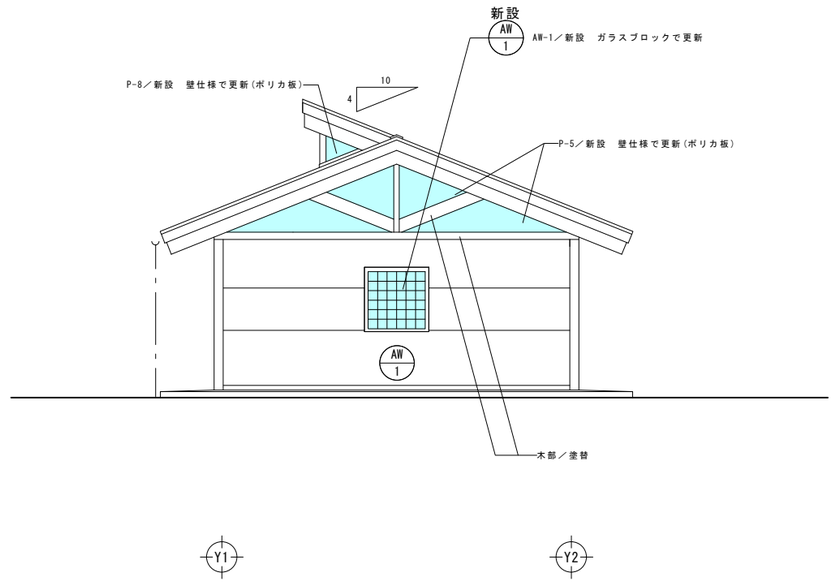
南面立面図　S=1:50



西面立面図　S=1:50



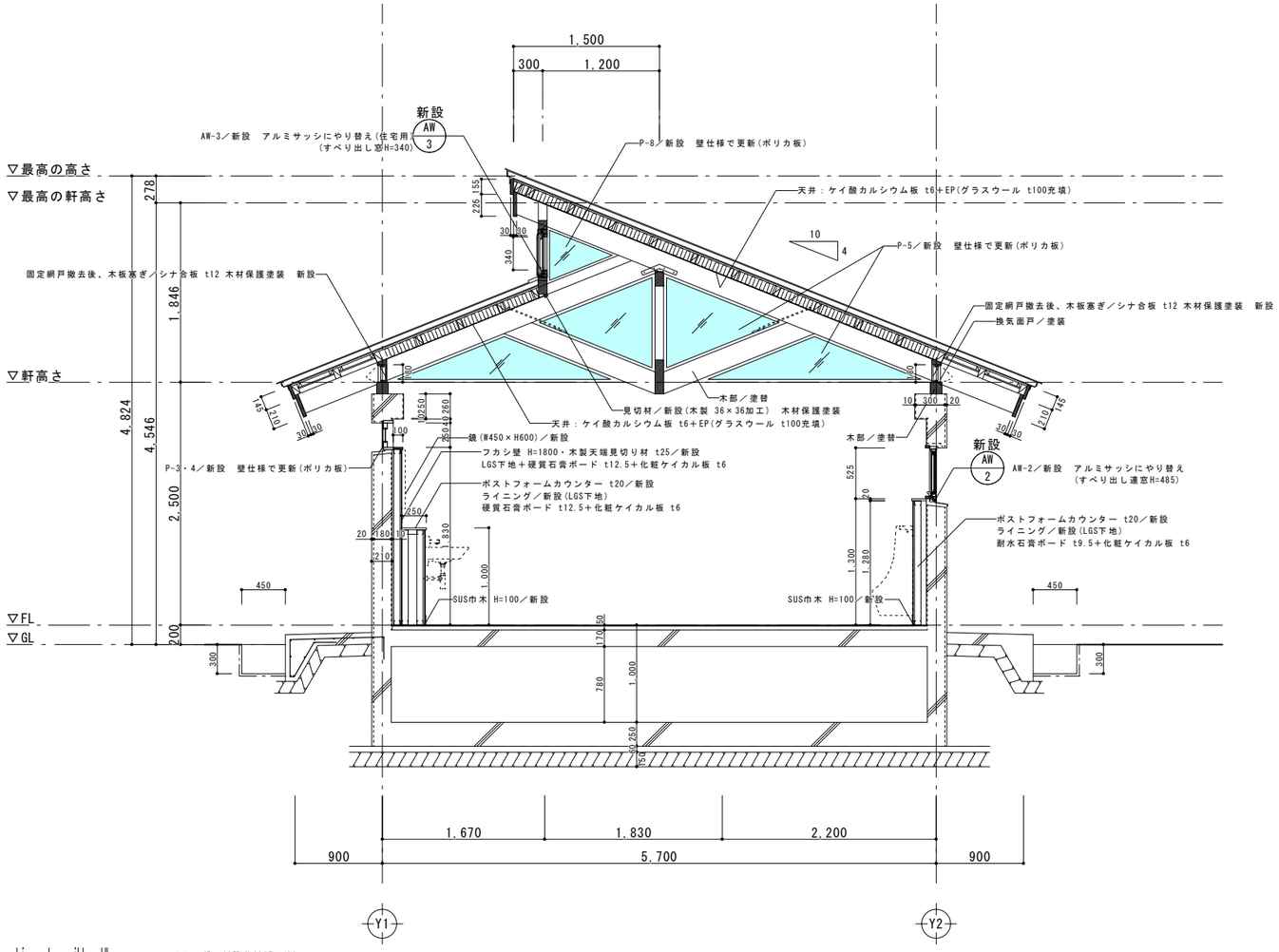
北面立面図　S=1:50

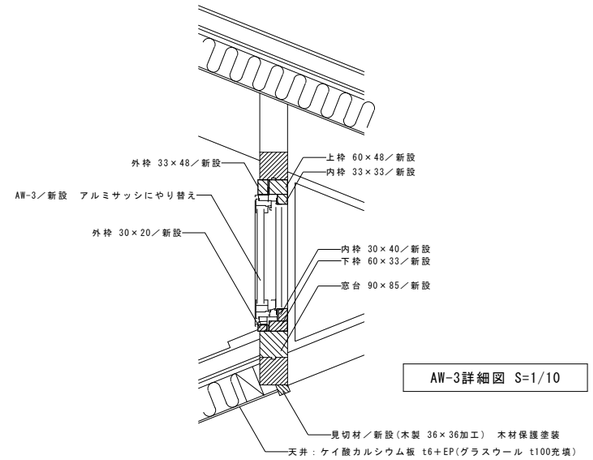


東面立面図　S=1:50

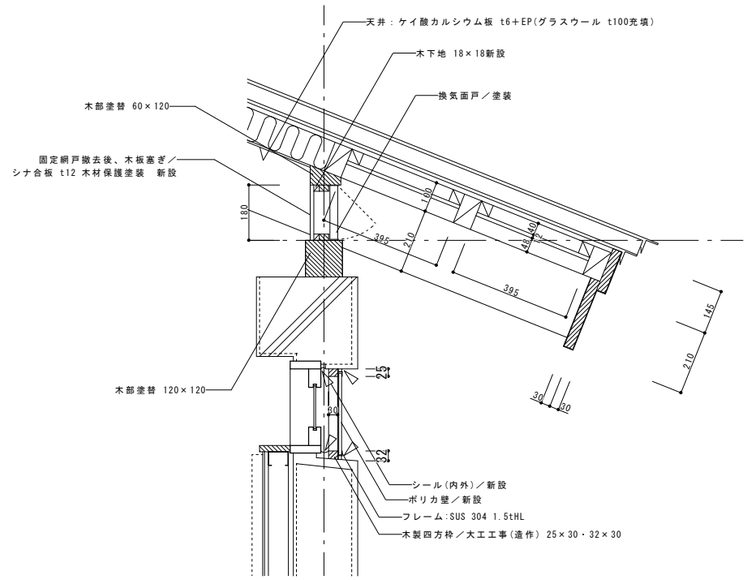
	東御市		社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
				SCALE A1 1 : 50	PART 建築意匠
			SHEET NAME 改修立面図	SCALE A3 1 : 100	SEET NO. B - 12

Save: 2025/09/09 08:44:16 Print: 2025/09/17 09:38 FN:K-WK74006都市計画課W03 都市計画公園W04社会資本整備総合交付金（公園事業）＊＊伊ったりトイレ実施
2022.10.01

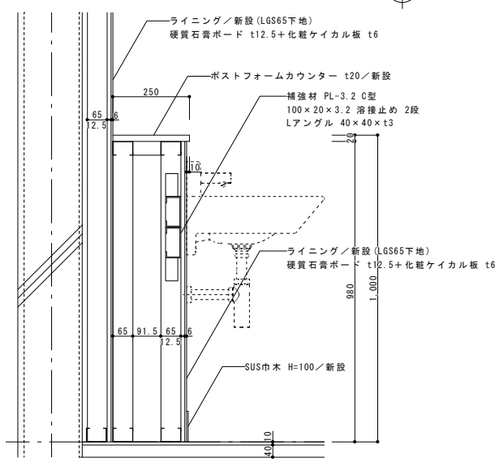




AW-3詳細図 S=1/10

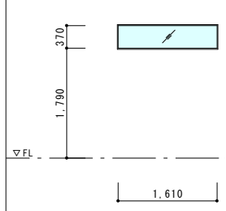
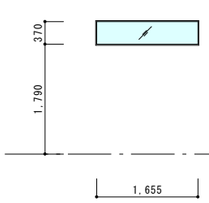
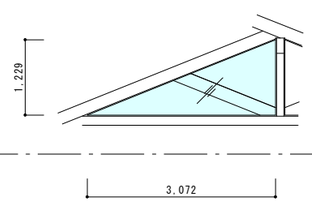
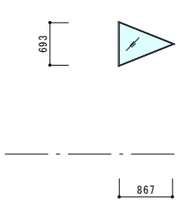


軒先詳細図 S=1/10



ライニング詳細図(手洗い器・SK) S=1/10

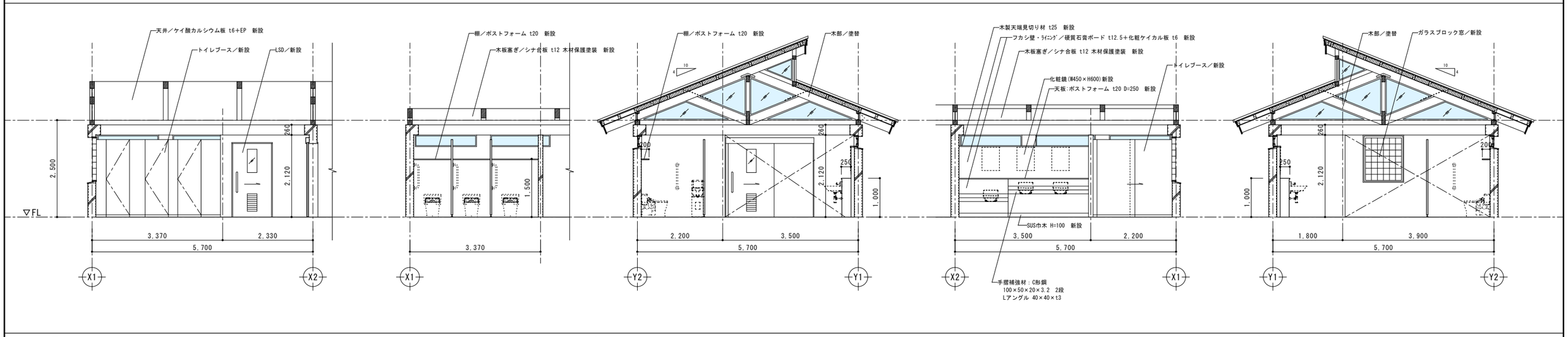
ポリカ壁リスト　S=1/50

記号・形式・数量	P 3　ポリカ壁　3ヶ所	P 4　ポリカ壁　6ヶ所	P 5　ポリカ壁　8ヶ所	P 8　ポリカ壁　4ヶ所
工事内容	■新設(枠共)	■新設(枠共)	■新設(フレーム共)	■新設(フレーム共)
姿図				
位置	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ・女子トイレ
仕上・見込	35　SUS枠	35　SUS枠	35　SUS枠	35　SUS枠
硝子	ポリカ中空板／ツインカーボ t=16(タフネス)	ポリカ中空板／ツインカーボ t=16(タフネス)	ポリカ中空板／ツインカーボ t=16(タフネス)	ポリカ中空板／ツインカーボ t=16(タフネス)
金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
備考	木製四方枠／大工工事(造作)　フレーム:SUS 304 1.5tHL	木製四方枠／大工工事(造作)　フレーム:SUS 304 1.5tHL	フレーム:SUS 304 1.5tHL	フレーム:SUS 304 1.5tHL

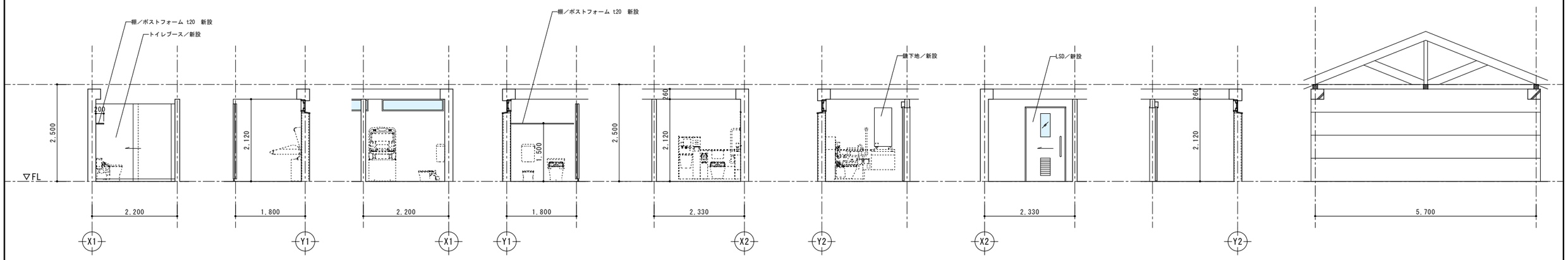
東御市	社会資本整備総合交付金事業 JOB NAME　東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
		SCALE A1 1：30	PART 建築意匠
	SHEET NAME　改修断面詳細図	SCALE A3 1：60	SEET NO. B－13

Save: 2025/09/09 08:44:16 Print: 2025/09/17 09:39 File:K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥04社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実
2022.10.01

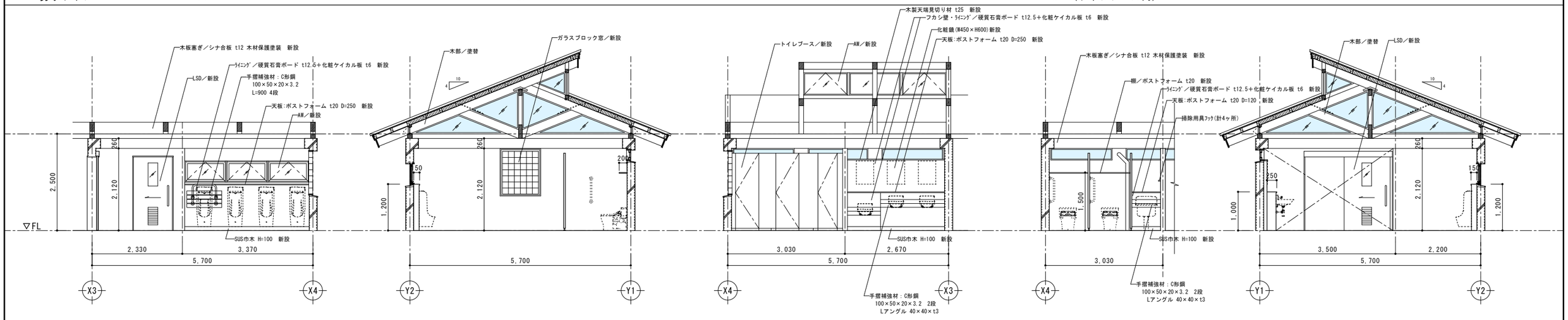
女子トイレ　A　A'（トイレブース内）　B　C　D



女子トイレ(小児用)A　B　C　D　多目的トイレ(共通)　A　B　C　D　ポーチ(共通)　B

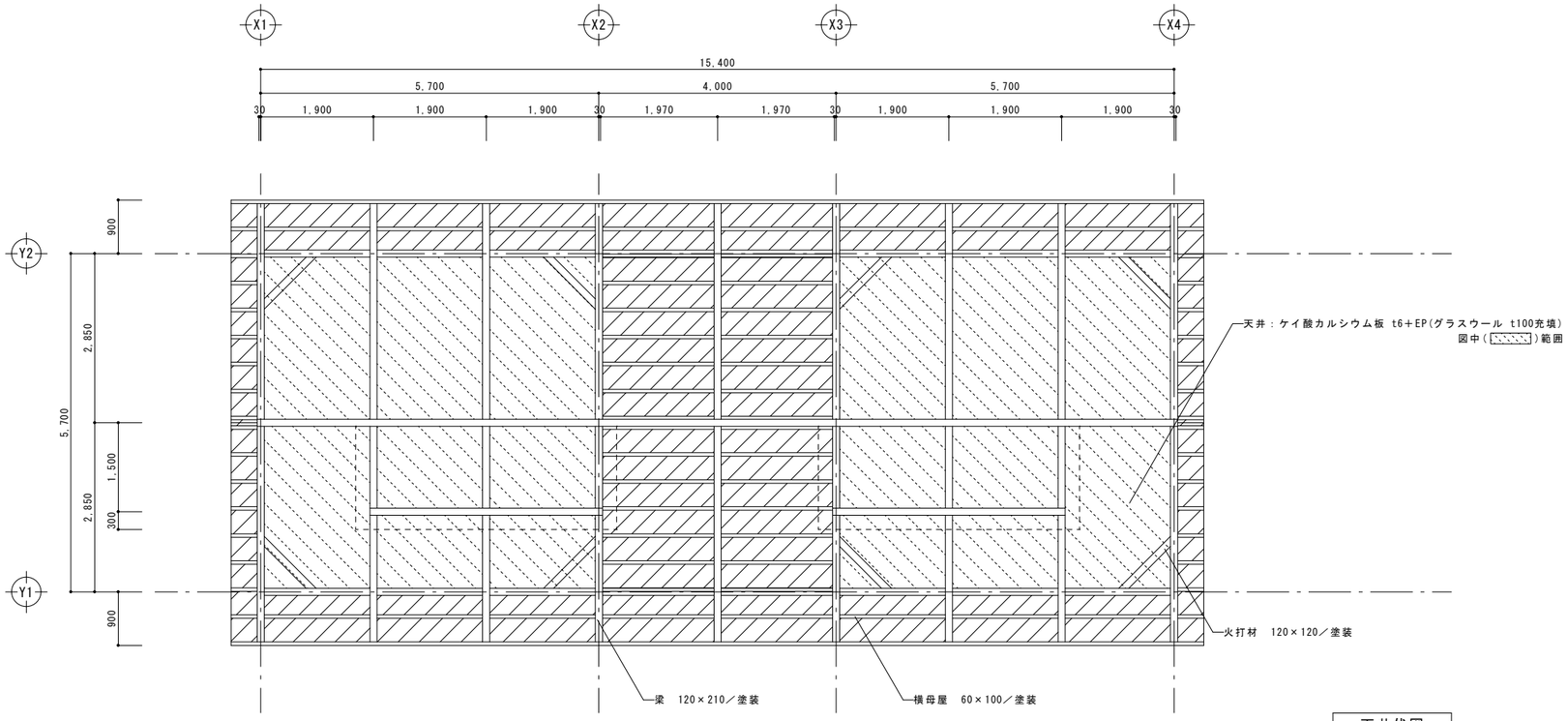


男子トイレ　A　B　C　C'（トイレブース内）　D

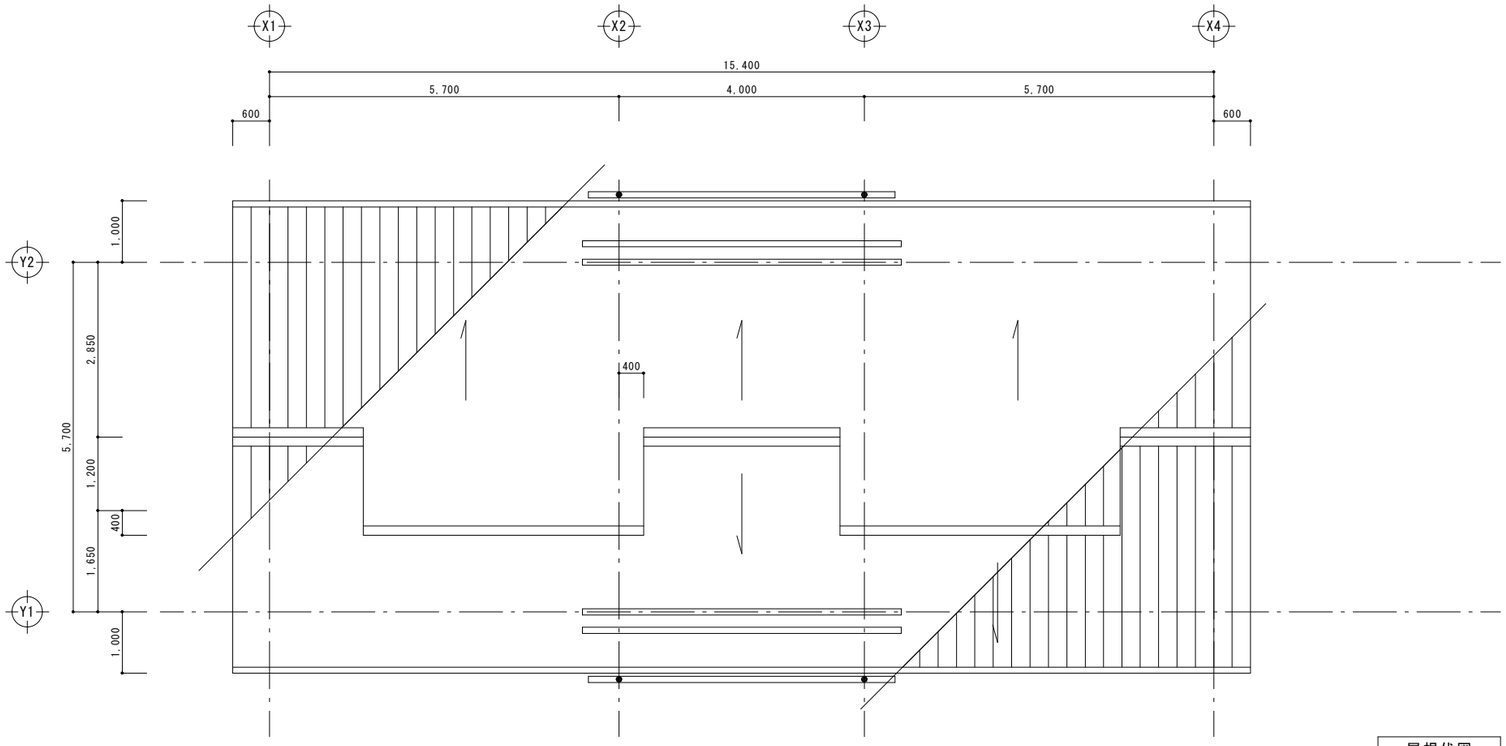


東御市		社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO.	2649
			SCALE A1 1：50	PART	建築意匠
		SHEET NAME 改修展開図	SCALE A3 1：100	SEET NO.	B－14

Save: 2025/09/09 08:45:33 Print: 2025/09/17.09:40 FN:K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥05社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実
2022.10.01



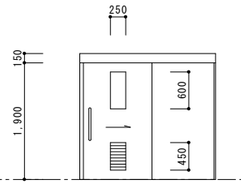
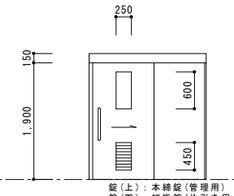
天井伏図

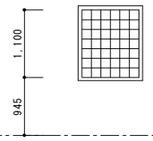
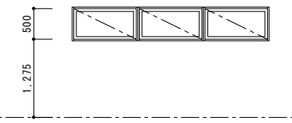
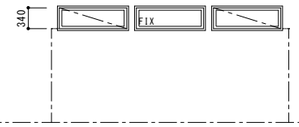


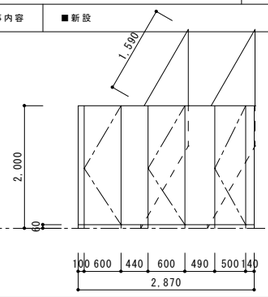
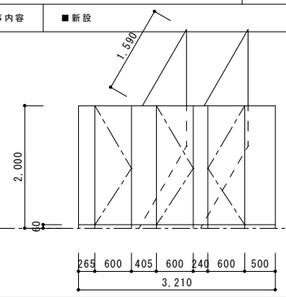
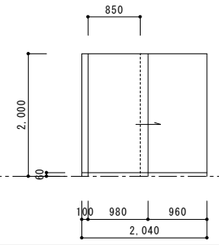
屋根伏図

東御市		社会資本整備総合交付金事業	DATE	JOB NO.	２６４９
		JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	SCALE A1 1：50	PART	建築意匠
		SHEET NAME 改修天井伏図・屋根伏図	SCALE A3 1：100	SEET NO.	B－15

Save: 2025/09/09 08:46:09 Print: 2025/09/17.09:43 FN:K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥05社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実
2022.10.01

記号・形式・数量	LSD-1 軽量スチール製　片引き戸　2ヶ所	LSD-2 軽量スチール製　片引き戸　2ヶ所					
	工事内容　■新設(枠、三方シール共)	工事内容　■新設(枠、三方シール共)					
姿図	 枠：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6(SOP) 扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t0.8(焼付塗装)	 錠(上)：本締錠(管理用) 錠(下)：打掛錠(片引き用、非常開付き) 枠：溶融亜鉛めっき鋼板 t1.6(SOP) 扉：溶融亜鉛めっき鋼板 t0.8(焼付塗装)					
位置	男子トイレ・女子トイレ	多目的トイレ					
仕上・見込	280　軽量スチール製　※屋外タイプ	280　軽量スチール製　※屋外タイプ					
硝子	型ガラス t4	型ガラス t4					
金物	自閉装置　ハンガーレール　シリンダー錠　取手L=600 SUS製 掘込錠錠　標準金物一式	自閉装置　ハンガーレール　シリンダー錠　取手L=600 SUS製 掘込錠錠　標準金物一式					
備考	ガラリ(焼付塗装)　鋼製三方枠	ガラリ　鋼製三方枠					

記号・形式・数量	AW-1 ガラスブロック窓　2ヶ所	AW-2 アルミ製　滑り出し窓　連窓　1ヶ所	AW-3 アルミ製　高所用滑り出し窓　2ヶ所				
	工事内容　■新設(枠、四方シール共)	工事内容　■新設(枠、四方シール共)	工事内容　■新設(枠、四方シール共)				
姿図							
位置	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ	男子トイレ・女子トイレ				
仕上・見込	95　アルミ製　カラー	70　アルミ製　カラー　(ビル用サッシ)	70　アルミ製　カラー　(ビル用サッシ　半外付)				
硝子	ガラスブロック 145×145　カスミ	ペア：F4+A12+FL3	ペア：FL3+A12+FL3				
金物	標準金物一式	カムラッチハンドル、網戸、標準金物一式	電動オペレーター(各サッシ)、網戸、標準金物一式				
備考	木製四方枠／大工工事(造作)	木製四方枠／大工工事(造作)	木製四方枠／大工工事(造作)				

記号・形式・数量	TB-1 トイレブース　1ヶ所	TB-2 トイレブース　1ヶ所	TB-3 トイレブース　1ヶ所				
	工事内容　■新設	工事内容　■新設	工事内容　■新設				
姿図							
位置	男子トイレ	女子トイレ	女子トイレ				
仕上・見込	40　高圧メラミン樹脂化粧板(下地MDF t25)	40　高圧メラミン樹脂化粧板(下地MDF t25)	40　高圧メラミン樹脂化粧板(下地MDF t25)				
硝子							
金物	中心吊グレビティヒンジ　アルミ笠木　戸当たり帽子掛け 標準金物一式　(SK部分　MIWA　KDZシリンダー錠付)	中心吊グレビティヒンジ　アルミ笠木　戸当たり帽子掛け 標準金物一式	引き戸金物　引き戸錠　アルミ笠木　戸当たり帽子掛け				
備考	SUS製　脚金物　ベビーチェア部：２ロック	SUS製　脚金物　ベビーチェア部：２ロック	SUS製　脚金物　２ロック				

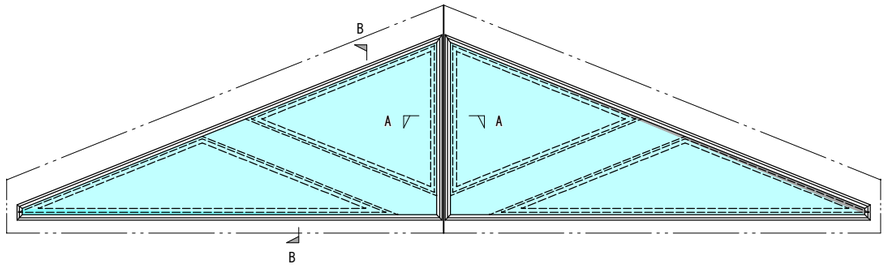
記号・形式・数量							
姿図							
位置							
仕上・見込							
硝子							
金物							
備考							

東御市

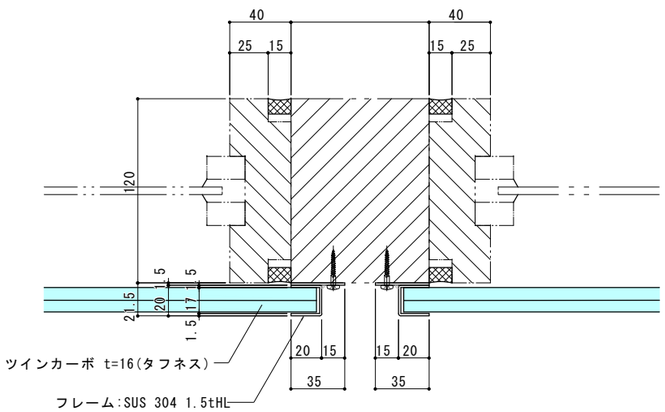
JOB NAME	社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. ２６４９
		SCALE A1 1：50	PART 建築意匠
SHEET NAME	改修建具表	SCALE A3 1：100	SEET NO. B－16

Save:2025/09/09 08:45:33 Print:2025/09/17.09:41 FN:K.W27#006都市計画係W03 都市計画公園W06社会資本整備総合交付金（公園事業）K★砂ったりトイレ実
2022.10.01

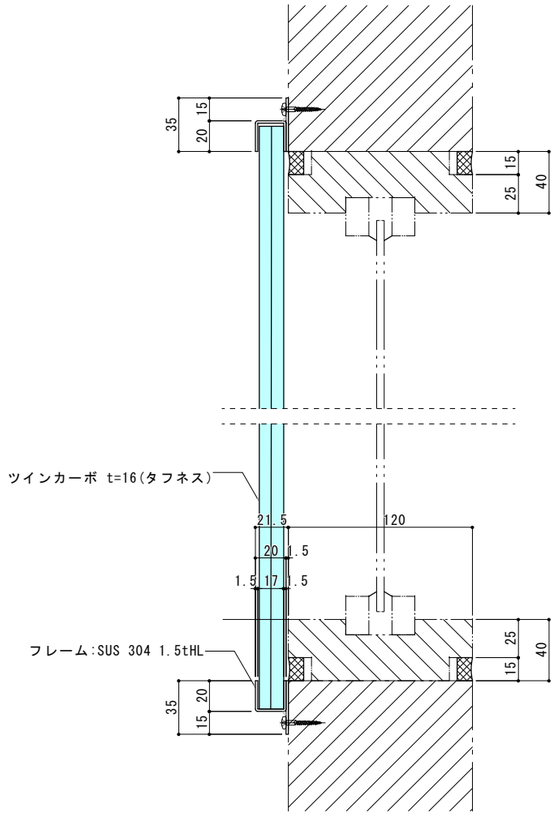
ツインカーボ　展開図　1/20



ツインカーボ　A-A断面詳細図　1/2



ツインカーボ　B-B断面詳細図　1/2



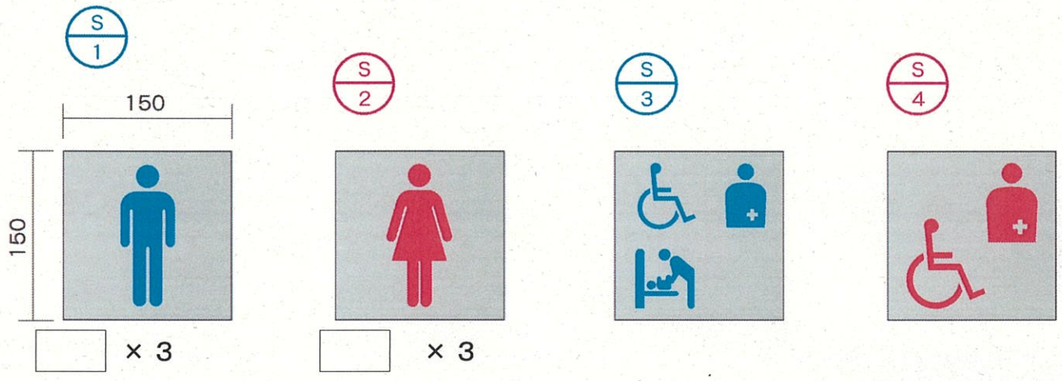
東御市

社会資本整備総合交付金事業	DATE	JOB NO.	２６４９
JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	SCALE A1 —	PART	建築意匠
SHEET NAME 改修部分詳細図（２）	SCALE A3 —	SEET NO.	B － 18

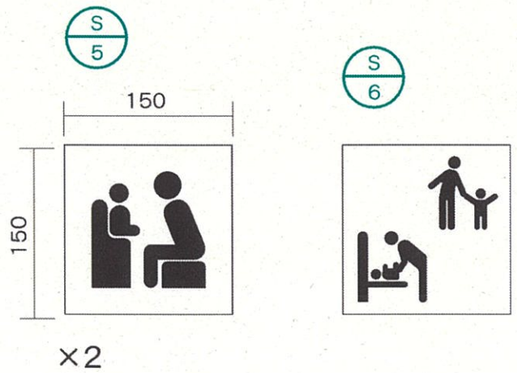
Save: 2025/09/09 08:47:03 Print: 2025/09/17 09:44 FN=K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥06社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実

2022.10.01.

SUS HL t1.0㎜ シルク印刷



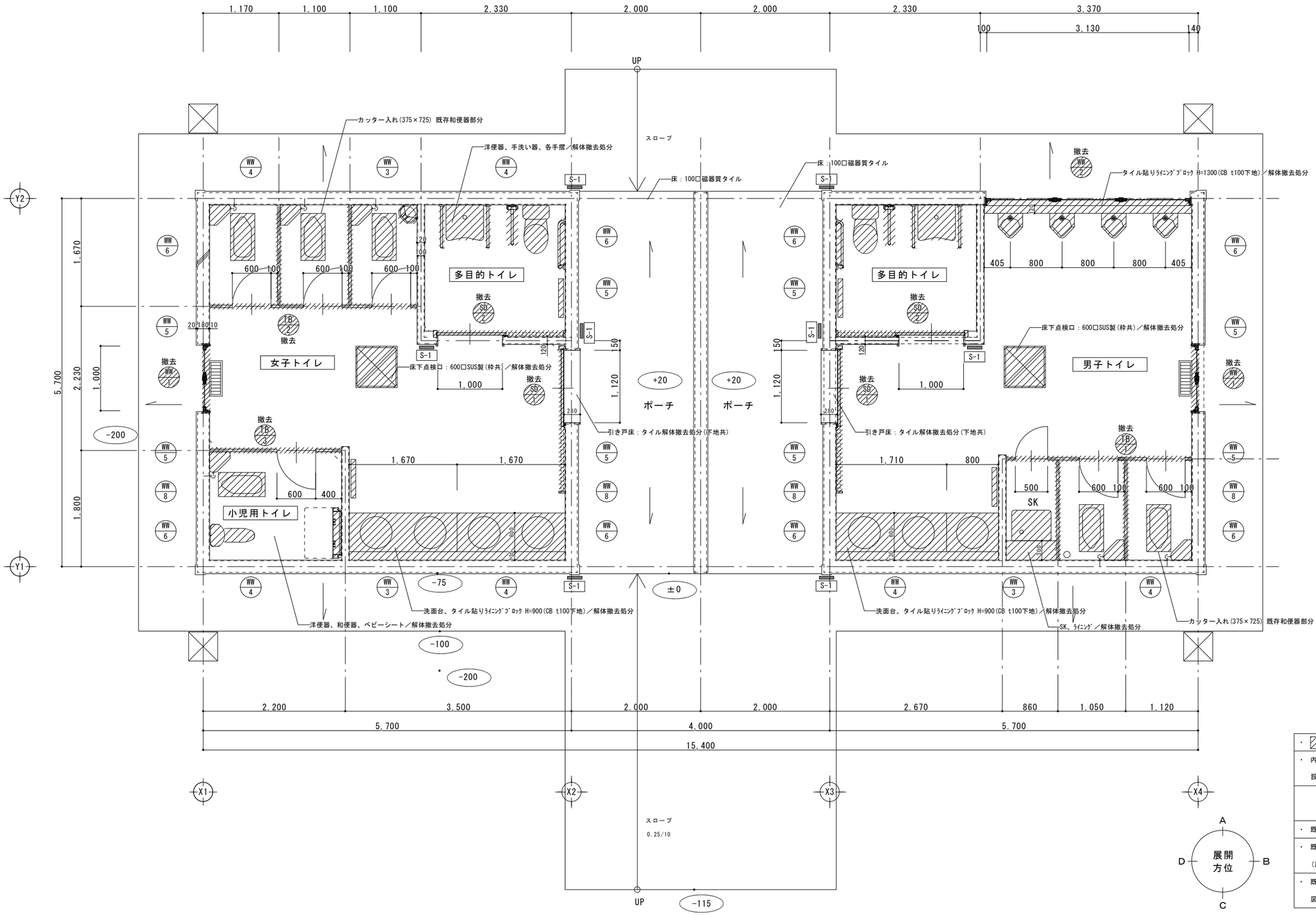
アクリル(白)マット t3㎜ シルク印刷



シルク印刷 刷り色

- 青:DIC182
- 赤:DIC156
- 黒

	東御市			社会資本整備総合交付金事業	DATE	JOB NO. 2649
				JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	SCALE A1 —	PART 建築意匠
				SHEET NAME 改修サイン詳細図	SCALE A3 —	SEET NO. B－19



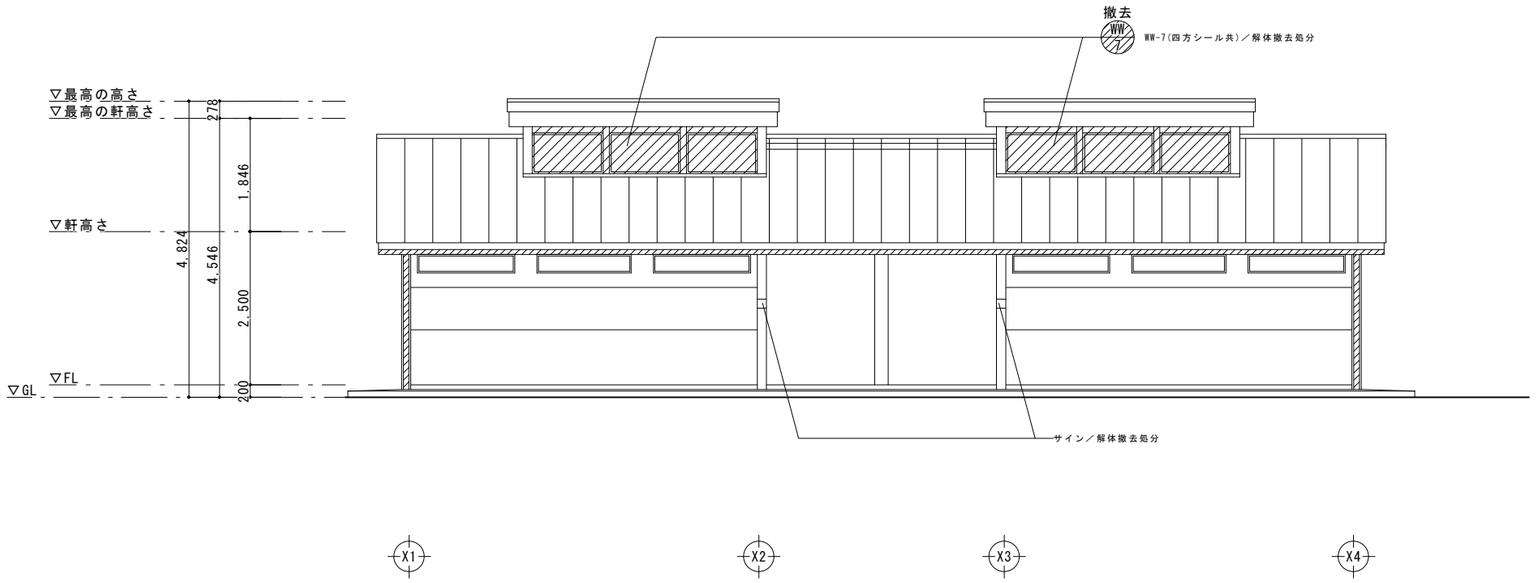
・ ･･･解体撤去部分
・ 内部衛生設備機器の解体撤去処分は 設備工事 (鏡、手摺共)
・ 既存通気管：特記以外は既存残しとする
・ 既存和便器部撤去部は周囲カッター入れ (周囲50mm)既存床ｽﾗﾌﾞ解体撤去とする
・ 既存サイン撤去処分 8ヶ所 図中(S-1)表記 150×150 アルミ製

東御市

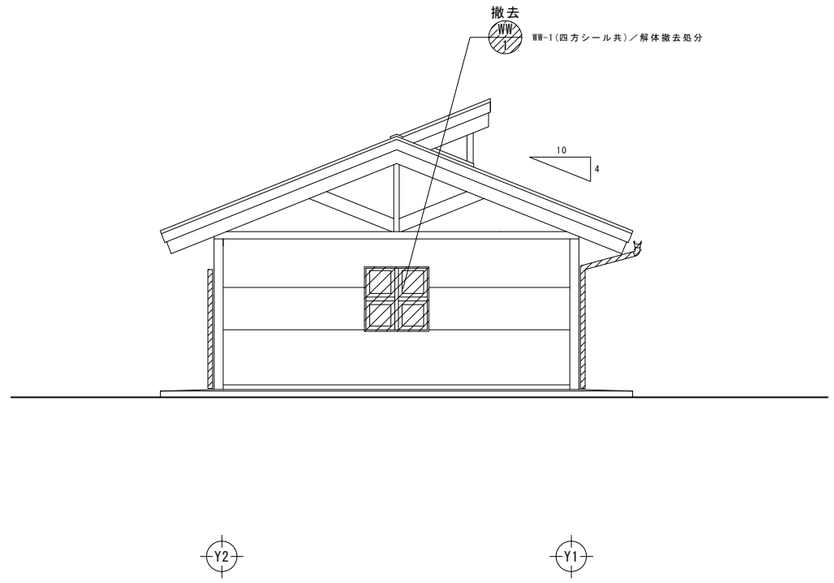
社会資本整備総合交付金事業	DATE	JOB NO.	2649
JOB NAME 東御中央公園トイレ改修工事	SCALE A1 1：30	PART	建築意匠
SHEET NAME 解体平面図・キープラン・サインプラン	SCALE A3 1：60	SEET NO.	K－01

Save: 2025/09/09 08:53:58 Print: 2025/09/17.10:50 FN:K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥05社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実

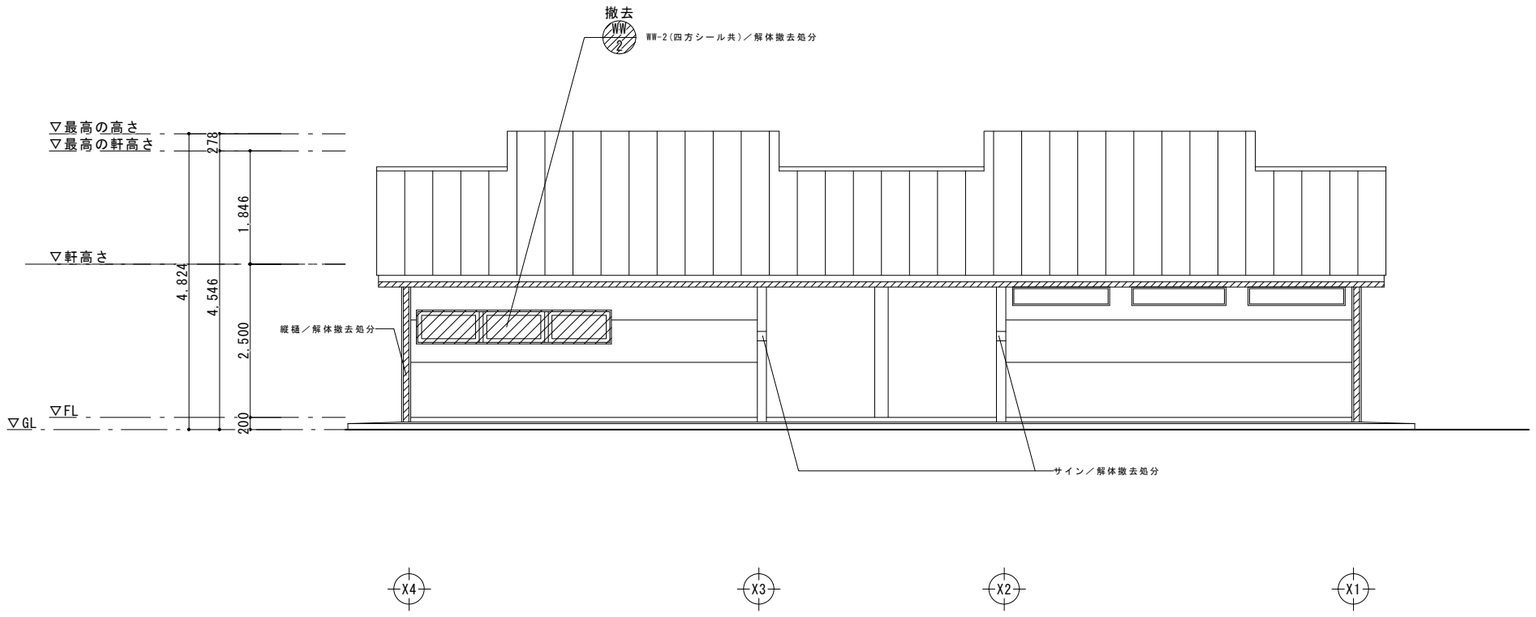
2022.10.01



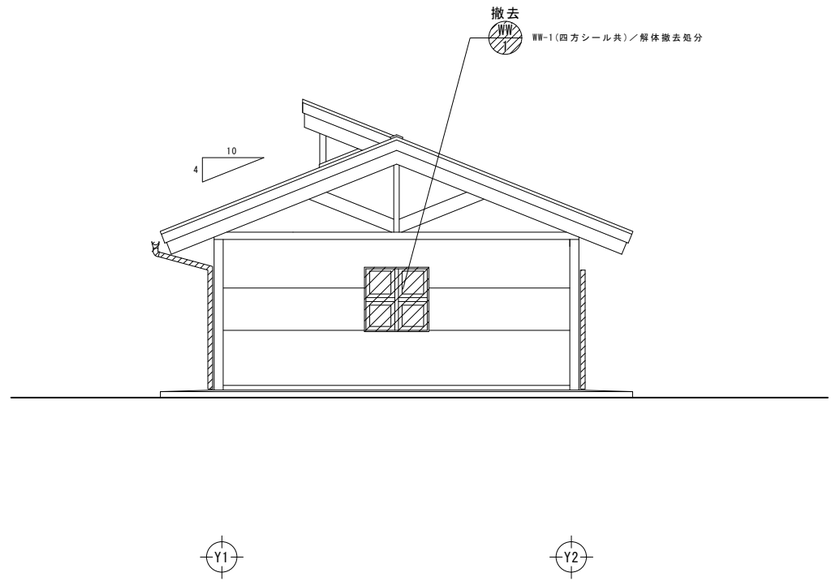
南面立面図　S=1:50



西面立面図　S=1:50



北面立面図　S=1:50

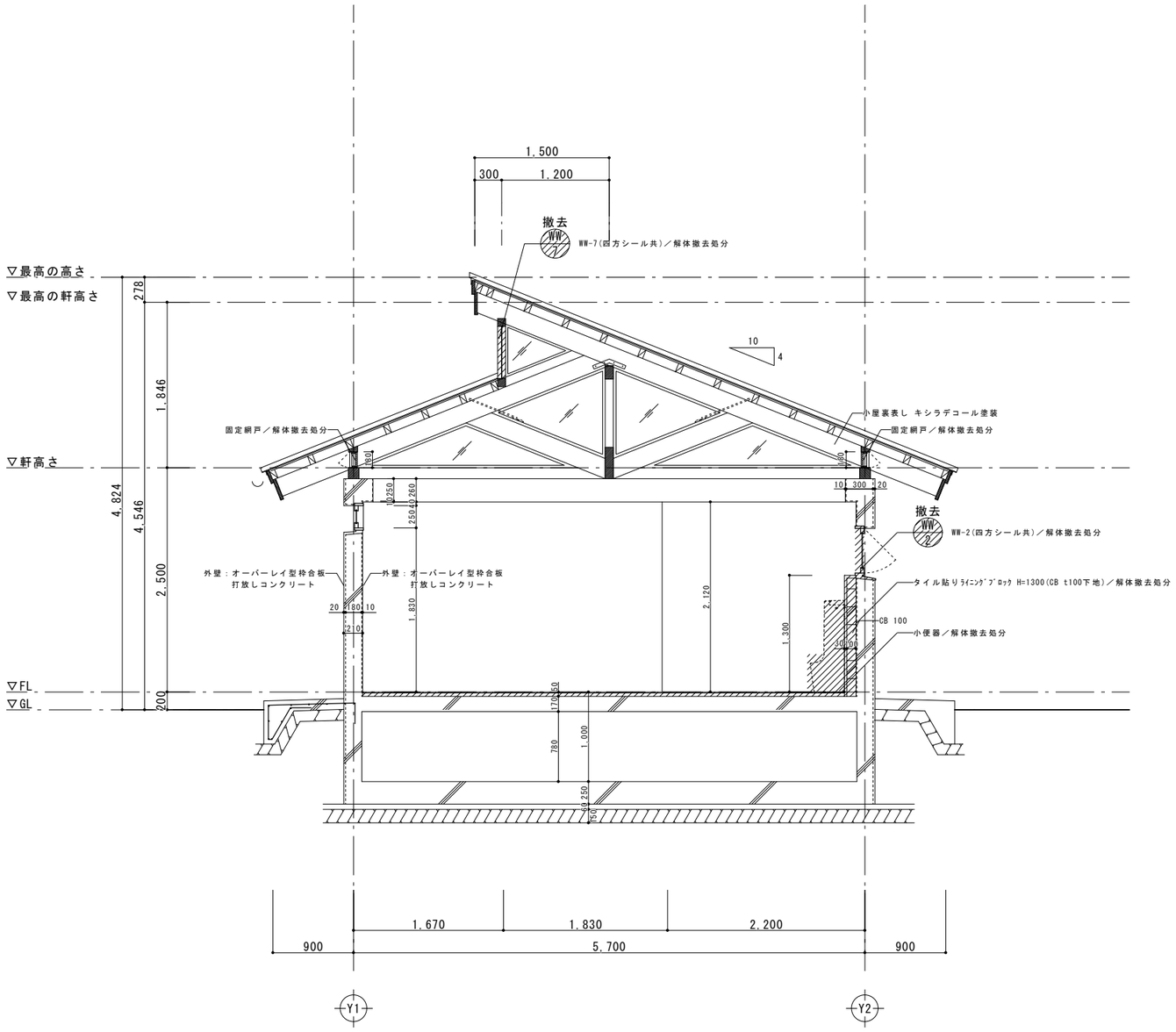


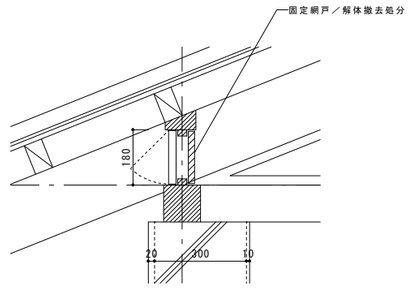
東面立面図　S=1:50

・　　･･･解体撤去部分

	東御市		社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
				SCALE A1 1 : 50	PART 建築意匠
			解体立面図	SCALE A3 1 : 100	SEET NO. K - 02

Save: 2025/09/09 08:53:58 Print: 2025/09/17.10:51 FN:K-WK7#006都市計画課W03 都市計画公園W04社会資本整備総合交付金（公園事業）★★伊ったりトイレ実
2022.10.01





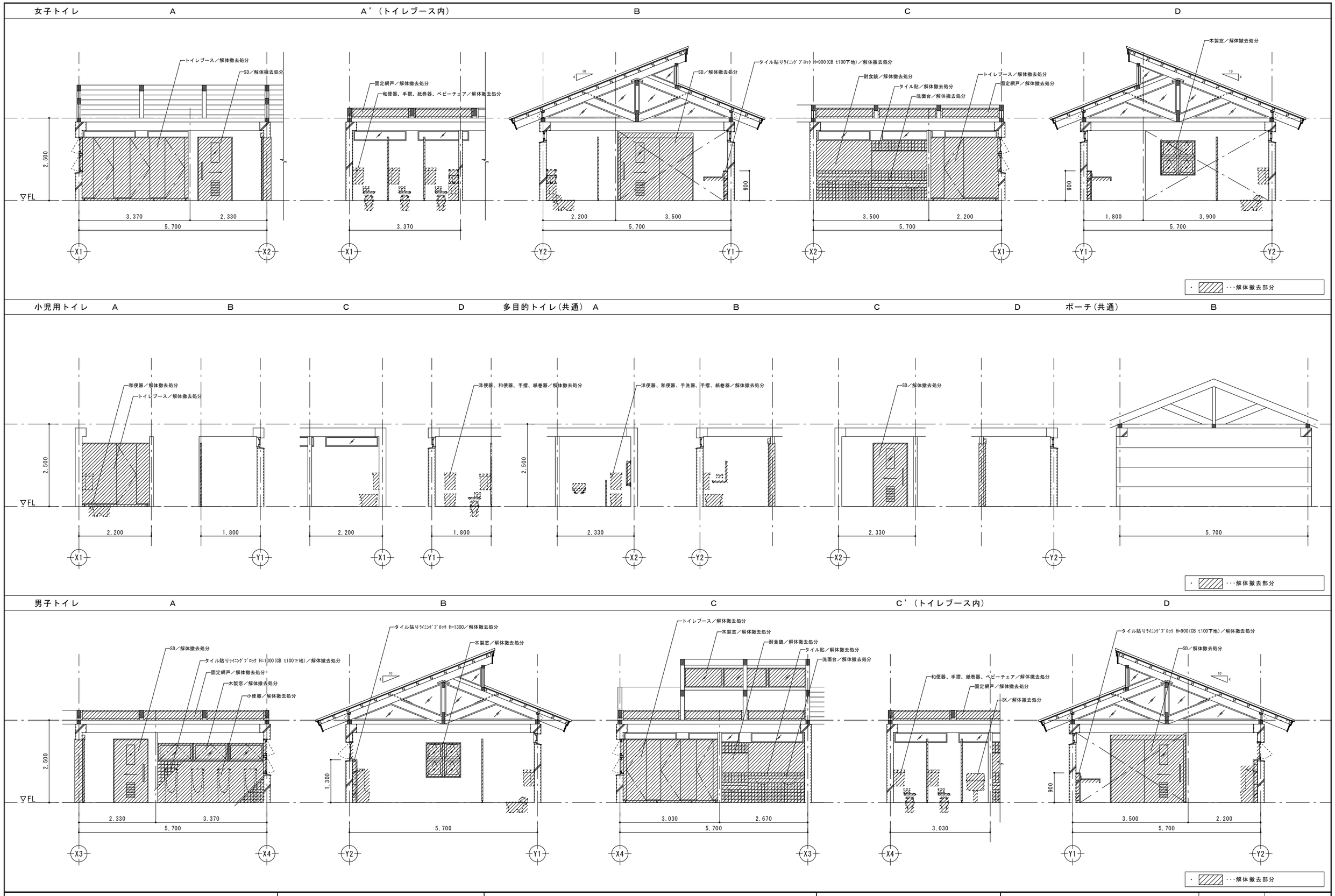
換気面戸詳細図 S=1/10

・ ･･･解体撤去部分

東御市	社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
		SCALE A1 1：30	PART 建築意匠
	SHEET NAME 解体断面詳細図	SCALE A3 1：60	SEET NO. K－03

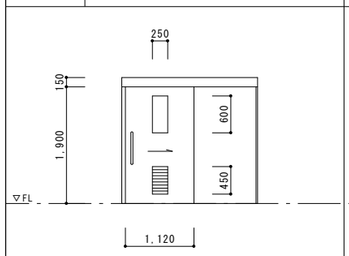
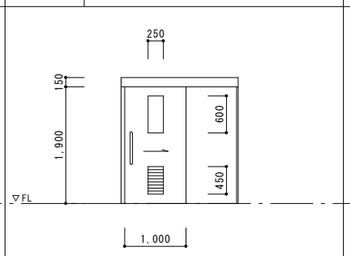
Save: 2025/09/09 08:53:58 Print: 2025/09/17.10:52 FN:K:¥R7¥006都市計画係¥03 都市計画公園¥05社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実

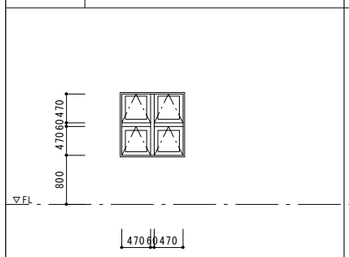
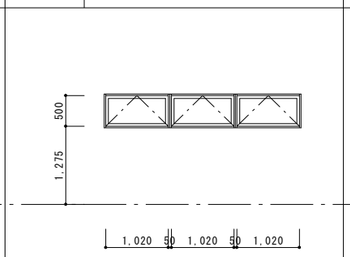
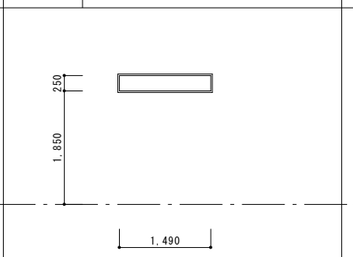
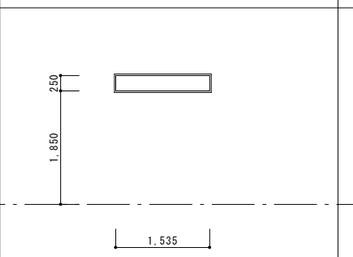
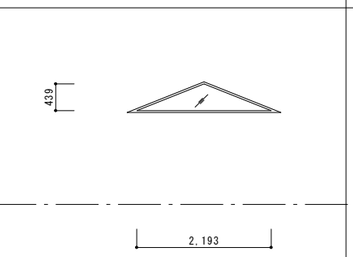
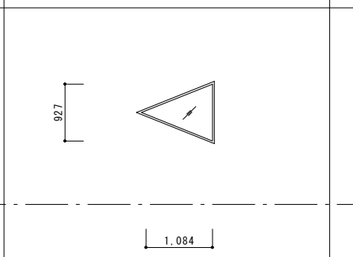
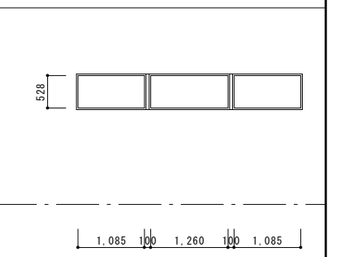
2022.10.01

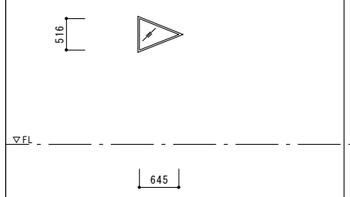


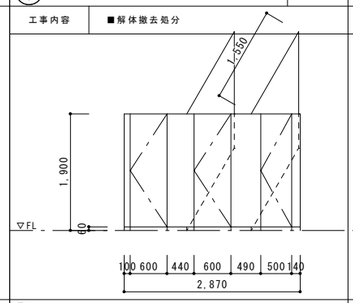
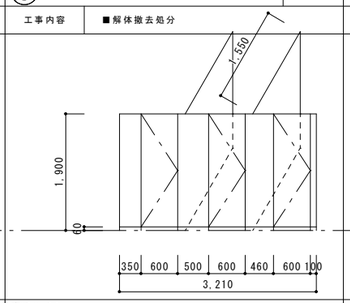
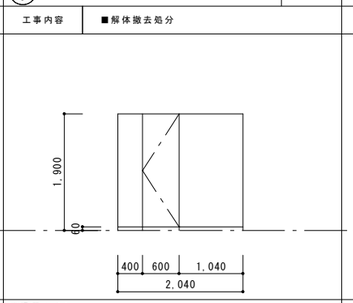
東御市	社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
	JOB NAME	SCALE A1 1：50	PART 建築意匠
	SHEET NAME 解体展開図	SCALE A3 1：100	SEET NO. K－04

Save：2025/09/09 08:56:18 Print：2025/09/17.10:58 FN=K.WR7#006都市計画公園#03 都市計画公園#03社会資本整備総合交付金（公園事業）K■ゆったりトイレ(男
2022.10.01.

記号・形式・数量	SD-1 スチール製　片引き戸 2ヶ所	SD-2 スチール製　片引き戸 2ヶ所					
工事内容	■解体撤去処分(枠、三方シール共)	■解体撤去処分(枠、三方シール共)					
姿図							
位置	男子トイレ・女子トイレ	多目的トイレ					
仕上・見込	280　スチール製　SOP	280　スチール製　SOP					
硝子	型ガラス	型ガラス					
金物	引戸錠　引手　標準金物一式	引戸錠　引手　標準金物一式					
備考	ガラリ　鋼製三方枠	ガラリ　鋼製三方枠					

記号・形式・数量	WW-1 木製　突き出し窓 2ヶ所	WW-2 木製　突き出し窓 1ヶ所	WW-3 木製　FIX窓 3ヶ所	WW-4 木製　FIX窓 6ヶ所	WW-5 木製　FIX窓 8ヶ所	WW-6 木製　FIX窓 8ヶ所	WW-7 木製　FIX窓 2ヶ所
工事内容	■解体撤去処分(枠、四方シール共)	■解体撤去処分(枠、四方シール共)	既存のまま、クリーニング	既存のまま、クリーニング	既存のまま、クリーニング	既存のまま、クリーニング	■解体撤去処分(枠、四方シール共)
姿図							
位置	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ・女子トイレ	男子トイレ・女子トイレ
仕上・見込	45　木製　WP	45　木製　WP	45　木製　WP	45　木製　WP	45　木製　WP	45　木製　WP	45　木製　WP
硝子	型ガラス	型ガラス	型ガラス	型ガラス	型ガラス	型ガラス	型ガラス
金物	標準金物一式	標準金物一式					
備考	木製四方枠	木製四方枠	木製四方枠	木製四方枠	木製三方枠	木製三方枠	木製四方枠

記号・形式・数量	WW-8 木製　FIX窓 4ヶ所						
工事内容	既存のまま、クリーニング						
姿図							
位置	男子トイレ・女子トイレ						
仕上・見込	45　木製　WP						
硝子	型ガラス						
金物							
備考	木製三方枠						

記号・形式・数量	TB-1 トイレブース 1ヶ所	TB-2 トイレブース 1ヶ所	TB-3 トイレブース 1ヶ所				
工事内容	■解体撤去処分	■解体撤去処分	■解体撤去処分				
姿図							
位置	男子トイレ	女子トイレ	小児用トイレ				
仕上・見込	40　ポリ化粧合板フラッシュ	40　ポリ化粧合板フラッシュ	40　ポリ化粧合板フラッシュ				
硝子							
金物	ラバトリーヒンジ　頭つなぎ材　標準金物一式	ラバトリーヒンジ　頭つなぎ材　標準金物一式	ラバトリーヒンジ　頭つなぎ材　標準金物一式				
備考	SUS製　脚金物	SUS製　脚金物	SUS製　脚金物				

東御市

JOB NAME	社会資本整備総合交付金事業 東御中央公園トイレ改修工事	DATE	JOB NO. 2649
		SCALE A1 1：50	PART 建築意匠
SHEET NAME	解体建具表	SCALE A3 1：100	SEET NO. K－06

Save: 2025/09/09 08:56:18 Print: 2025/09/17.10:58 FN:K.W874006都市計画係W03 都市計画公園W05社会資本整備総合交付金（公園事業）¥★ゆったりトイレ実